NUEVA

ヌエバでチャンピオンを目指せ!!

国際ハンドボール連盟公認球

日本リーグ唯一の公式試合球

全日本大学選手権（インカレ）
唯一の公式試合球

日本ハンドボール協会検定球

本大会試合球

国際ハンドボール連盟公認球
日本ハンドボール協会検定球

32H300WRB　ヌエバ

●手縫い●天然皮革●3号球●32枚パネル●白×赤×青×黒

国際ハンドボール連盟公認球
日本ハンドボール協会検定球

32H200WRB　ヌエバ

●手縫い●天然皮革●2号球●32枚パネル●白×赤×青×黒

molten®

株式会社モルテン

東京本社　〒130-0003 東京都墨田区横川5丁目5-7
大阪・名古屋・福岡・広島・四国・仙台・札幌・リノ/U.S.A.・デュッセルドルフG

J級指導員制度で指導者層の充実を

(財)日本ハンドボール協会常務理事　　角　紘昭

「犬の子は犬にしかなれないが、人の子はオオカミにもなれる」ということは、1920年にインドで発見された「オオカミに育てられた子」によって見事に証明されています。

このことは「人」は、その成長する過程で受ける教育や訓練で、様々な能力を身につけることができ「オオカミ」にもなってしまう「可塑性」を持っているということです。

この「可塑性」の高い成長期においても、それぞれの能力を身につけるのに最も適した年代があると言われています。反対に、その時期を失して、後になって身につけようとすると、時間がかかりすぎたり、十分に身につかなかったりする場合が多いのです。これを人間の発達上での「適宜性」といいます。

特にスポーツにおいては、これまでに様々な研究の結果、9～12、3才頃を「GOLDEN＝AGE」と呼んで、あらゆる能力を身につける最も大切な時期としてとらえています。

今年度から始まる、公認J級指導員制度は、この「GOLDEN＝AGE」を中心とした15才頃までの指導者層の充実を目指して新たに設けられたものです。指導者は、子どもの体の発育、心の発達、さらには思考力も高めるような、子ども理解をする必要があります。

その上で、ハンドボールの基礎的基本的な技能の習熟はもとより、スポーツをする楽しさ、自ら考え発見する楽しさを味わわせるための指導のポイント等々について研修を積み、指導者としての資質を獲得することが、この制度のねらいです。

本年度からは学校5日制もスタートし、ますますスポーツ指導者の質の高まりと、資格取得による質の保証が求められてきています。各都道府県協会を中心として、多数の有資格者を養成し、学校や地域の求めに応じた活用を進めていきたいと考えています。

また、今年で3年目を迎えるNTSも、このことを十分に考えながら、一貫指導の内容の充実を図り、ハンドボールの広がりと、その基盤に根付いたトップアスリートの育成を目指しています。

▶▶▶▶▶ 第26回日本リーグプレーオフ ◀◀◀◀◀

男子は本田技研、女子は広島メイプルレッズが制覇

日本リーグプレーオフを終えて

日本ハンドボールリーグ委員会
委員長　川上　憲太

3月16日、17日に東京・駒沢体育館において、高円宮殿下、同妃殿下、絢子女王殿下のご臨席のもと、第26回日本ハンドボールリーグ・プレーオフが開催されました。

**(1)本田技研、広島メイプルレッズ、
4連覇達成！　おめでとう!!**

まずは優勝した、両チームの栄冠に賛辞を送りますとともに、日頃の努力に敬意を表したいと思います。

本田はレギュラーシーズンから快調にとばし、コンスタントな力を発揮。プレーオフ決勝においても、最後は橋本監督自らの体を張ったプレーでチームを優勝に導きました。橋本監督や今シーズンで現役を引退するヴォル選手を始めとする、本田の全プレーヤーの見事な健闘を称えたいと思います。

一方、今年からガラリと変わったチーム環境の下でスタートしたメイプルレッズは、シーズン当初から故障者が続出し、苦しい緒戦となりました。しかし、不屈の闘志でチームをじっくり引張って優勝に導いた林監督を始め、青戸選手、呉選手、その他メイプルの全プレーヤーの努力に、改めて「おめでとうございます。」を送ります。

**(2)準決勝進出をかけた、激闘のレギュラーシーズン、
そして……**

チームの補強が順調に行われ、期待が膨らんだ、大崎電気がレギュラーシーズン初戦で大同特殊鋼を破り、好スタートを切りました。シーズン途中心配をさせるシーンもありましたが、最後は堂々第2位の成績でプレーオフ進出を決めました。初の出場で少々意識過剰で硬くなり、きちっとまとめてきた湧永製薬に敗れはしましたが、爽やかな風を吹き込んでくれました。

女子はレギュラーシーズン初戦から快調に飛ばし、プレーオフ出場確実と思われたシャトレーゼが後半つまずき、惜しくも後退。しかし来シーズンに大いに期待したと思います。後半からは、伊藤元全日本監督が率いる、日立栃木（今年で廃部が決定し、ラストシーズンとなる）が実力を発揮し、プレーオフ出場を果たしました。

準決勝ではオムロンを撃破し、決勝ではメイプルに敗れたものの、感動的なフィナーレを見せてくれました。長い間の健闘とチーム関係者の皆様のご尽力に、心からお礼を申し上げたいと思います。

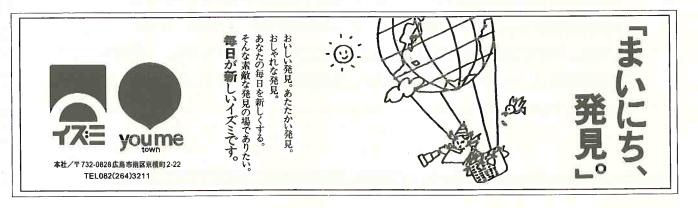
(3)競技間交流で「フットサル競技」のエキジビション

今後の各競技団体のあり方のひとつに、各競技団体がひとつの殻に閉じこもることなく交流し合い、その中からサポーター、競技者、支援団体等の拡大に寄与し合うという動きが盛んになっています。

今回は日本サッカー協会、日本フットサル連盟のご協力を頂き、大会の中でフットサル競技のエキジビションマッチを行いました。当日は「関東選抜対東京選抜」のトップゲームと「高円宮殿下チーム対ハンドボール元全日本選手チーム」の2試合が行われました。殿下チームにはラモス選手、木村和司選手、マリーニョ選手等が参加して、大会を盛上げて下さいました。

(4)大勢の来賓が会場へ

日本リーグ最高ゲームに、今年も大勢の来賓をお迎えすることができました。

本大会スポンサーの全日本空輸様、日本協会オフィシャルスポンサーのC＆Sグループ様、モルテン民秋社長、オリンピック金メダリスト三宅義信様、参議院議員小野清子様、JOC副会長小掛様、日本サッカー協会名誉会長長沼

健様、日本フットサル連盟様等々、大勢のご来賓の方々が試合をご覧になり、ハンドボールの激しさと面白さに感動されていました。

(5)今後の課題

この様に華やかな中に大会が終了できましたが、日本リーグとして大きな課題が残されています。１つは廃部、休部が相次ぐ、日本リーグ自体のあり方であります。

企業スポーツの上に成り立ってきた日本リーグも今年から広島メイプルレッズ、ＨＣ東京等、地域主導型のクラブチームの参加を認めました。

この地域主導型クラブチームの立ち上げも継続と安定という面からは、並々ならぬ関係者の努力がなければ成立しません。決して簡単ではないということです。

その中で企業スポーツチームの中味の改善（選手、監督、チーム関係者の意識改革)、リーグ運営の改善、試合数・試合形式の改善（スケジュールの改善)、観客動員の対応（チーム、会社、サポーター、地域…)、プロ契約選手への対応等々、山積みですが、執行部だけでなく、関係者全員が早急に取組んでいかなければなりません。

最後に、日立栃木、ブラザー工業、立山アルミ、ムネカタのチーム関係者の皆様、選手の皆様、本当に長い間有難うございました。また何らかの形で復活されることを期待しています。

第26回日本リーグ全てのスケジュールが無事終了できました。本大会の運営にご尽力ご協力頂きました、関係者各位並び各都道府県協会の皆様に厚くお礼申し上げますとともに、第27回大会も宜しくご支援、ご協力を頂きます様お願い申し上げます。

有難うございました。

男　子

■準 決 勝

湧永製薬　26（13－8／13－9）17　大崎電気

［戦評］ レギューラーシーズンでは大崎が湧永に２勝しているが、湧永がプレーオフでどんな戦いをしてくるか注目したいところ。

前半立ち上がりは、お互い手のうちをさぐり合う静かなスタートだったが、次第に点を取ったら取り返すという一進一退のゲーム展開となった。また、両ＧＫの好守も目立ち、少しも目を離せないゲームとなった。しかし、湧永ブラマニスの連続得点を足掛かりに田場、下川らが得点を重ね、前半を13－８と湧永が５点リードして折り返した。

後半に入っても湧永の勢いは止まらず、４連続得点し完全に試合の主導権をつかんだ。大崎は、後半、中川の負傷で劣勢を強いられたが、加藤、豊田らのシュートで必死に食い下がる。しかし、終始安定したゲーム展開を演じた湧永が26－17で決勝戦に駒を進めた。初のプレーオフ進出を果たした大崎は３位で今シーズンを終えた。

■決　勝

本田技研　30（13－15／17－14）29　湧永製薬

［戦評］ 前半立ち上がり、湧永・ブラマニスのシュートで先制。本田もストックランのロングで応戦。両チームともシュートを入れたら入れ返すといった一進一退の攻防が続いたが、10分過ぎから湧永が４連続得点をあげ、ここで７－４とすると、本田がたまらず作戦タイム。本田は立て直しを図りたいところだが、逆に湧永の勢いに押され気味で20分には12－６とダブルスコアがつく。しかし本田も意地を見せ、前半終了間際の３分間で谷口選手の速攻などで4連続得点し、15－13と湧永の２点リードで前半を折り返した。

後半に入ると、出だしこそ互角の戦いを演じていたが、本田は６分過ぎから４連続得点をあげ、ついに逆転。しかし、湧永も踏ん張り15分には23－23の同点に追いつき、試合の行方はまったくわからなくなった。本田は谷口、ヴォル、ストックランのシュートですぐに３点差をつけると一気にムードは最高潮となり、完全に試合の主導権をつかんだ。終盤、湧永も必死に食い下がったが、結局30－29で本田が４年連続の優勝を飾った。この試合で本田のストックラン８点、ヴォル11点、谷口８点の活躍が光った。ＭＶＰはヴォル選手が獲得した。

女　子

■準 決 勝

日立栃木　27（15－4 / 12－13）17　オムロン

［戦評］どちらも負けられない一戦。日立栃木が倉知のサイドシュートで先制。オムロンは日立・金をマンツーマンぎみにディフェンス。前半9分、日立・金のミドルで5－2とリード。その後も日立のペースで着実に得点を重ね、ＧＫ藤井の好守もあり前半20分には9－4とリードを広げる。オムロンは日立の金、郭両選手にダブルマンツーマン・ディフェンスするも、日立の勢いは止まらず、15－4で前半を終了。

後半はオムロンのスローオフで始まり、オムロンは前半と違ってスピーディな攻撃、固いディフェンスで10分には山田の速攻で10－16と追い上げる。しかし、日立も12分7mTをきっかけにペースを取り戻し、19分には浦田のポストシュートで21－11とする。その後、オムロンは山田、藤長の速攻で追撃するも、日立のペースは最後まで衰えず、27－17で決勝へ進出を決めた。

■決　勝

広島メイプルレッズ　26（13－6 / 13－15）21　日立栃木

［戦評］前半立ち上がり、両チームともに固さが見られる滑り出しであったが、先制したのは広島・杉本の速攻。一方日立は、ミスが目立ちなかなかリズムがつかめないまま進み、逆に広島は相手のミスにつけこみ着実に得点を重ね、12分には5－0とした。ここで日立は作戦タイム。しかし立て直しが図れず19分間得点できず7－0。ここで広島・吉兼の不正交代で1人少なくなったところで、日立は倉知、浦田らで3点を返し7－3とするが、広島も踏ん張り、前半を13－6と7点リードで折り返した。

後半に入り、日立は広島の司令塔・呉にマンツーマンでつく作戦に出て、これが功を奏し、また広島に退場者が次々と出て19分には19－16と3点差まで詰め寄る。広島は前半とは逆に10分間得点することができなかった。しかし、地力に勝る広島は粘る日立を26－21で退け、4年連続5度目の優勝を飾った。

なおＭＶＰには広島メイプルレッズの青戸あかね選手が選出された。

個人表彰

■ 一　部

〈最優秀監督賞〉
(男子)　橋本行弘(本田技研・初)
(女子)　林　五卿(広島メイプルレッズ・5)

〈最高殊勲選手賞〉
(男子)　Ｆ・ヴォル(本田技研・2)
(女子)　青戸あかね(広島メイプルレッズ・初)

〈殊勲選手賞〉
(男子)　坪根敏宏(湧永製薬・初)
(女子)　倉知光子(日立栃木・初)

〈得点王〉
(男子)　野村広明(トヨタ車体・初)115点
(女子)　呉　成玉(広島メイプルレッズ・2)129点

〈フィールド得点賞〉
(男子)　野村広明(トヨタ車体・初)78点
(女子)　呉　成玉(広島メイプルレッズ・2)122点

〈シュート率賞〉
(男子)　中川善雄(大崎電気・初)0.563
(女子)　倉知光子(日立栃木・初)0.713

〈7mスロー得点賞〉
(男子)　野村広明(トヨタ車体・初)37点
(女子)　菅原有紀(シャトレーゼ・2)51点

〈7mスロー阻止賞〉
(男子)　谷川一寿(アラコ九州・初)15本
(女子)　浅井友可里(立山アルミ・初)23本

〈最優秀選手賞〉
(男子)　Ｓ・ストックラン(本田技研・3)
(女子)　呉　成玉(広島メイプルレッズ・3)

〈最優秀新人賞〉
(男子)　高木　尚(大同特殊鋼)
(女子)　金城晶子(オムロン)

〈ベストセブン賞〉
(男子)ＧＫ・坪根敏宏(湧永製薬・2)
ＣＰ・下川真良(湧永製薬・2)
山口　修(湧永製薬・2)
阿部展行(本田技研・初)
中川善雄(大崎電気・2)

白　元喆（大同特殊鋼・２）
Ｓ・ストックラン（本田技研・４）
（女子）ＧＫ・田中麻美（北国銀行・初）
ＣＰ・藤浦美絵（シャトレーゼ・２）
倉知光子（日立栃木・２）
佐久川ひとみ（オムロン・初）
山田永子（オムロン・初）
金城晶子（オムロン・初）
呉　成玉（広島メイプルレッズ・４）

〈ベストディフェンダー賞〉

（男子）　羽賀太一（本田技研・初）
（女子）　呉　成玉（広島メイプルレッズ・初）

〈フェアプレー賞〉

（男子）　北陸電力（113点/14試合）
（女子）　ムネカタ（75点/16試合）

男子入替戦

HC東京が一部昇格、アラコ九州は一部残留

アラコ九州（一部）　33 ｛18－8／15－18｝ 26　インテックス21（二部）

［戦評］インテックス21の呉の先制で始まった。本日絶好調のアラコ・アントルのサイドシュートや多彩な速攻で、前半15分、10－４とアラコがリードを奪う。その後、インテックス21・呉を中心に積極的なディフェンスや小寺の好守、佐久間のサイドシュートなどで追い上げるも、シュートミスも多く、18－８で前半を終了。

後半はアラコ九州のスローオフで始まり、10分間一進一退が続いた。インテックス21・山口のミドル、峰の速攻で追い上げるも、アラコ・田中のカットインシュートなどで後半20分には30－16。インテックス21も呉の速攻などで必死に食い下がったが、前半の大量リードもあり、アラコ九州が勝利を収めた。

ＨＣ東京（二部）　21 ｛9－5／12－5｝ 10　北陸電力（一部）

［戦評］前半立ち上がり、北陸電力・桜井の７mTで先制。その後、両チーム決め手を欠き、一進一退の攻防が続いたが、10分過ぎから徐々にゲームが動き出し、ＨＣ東京は積極的なプレス・ディフェンスから着実に得点を重ね、18分には６－２とリード。北陸電力たまらず作戦タイムをとる。その後、北陸電力・筆吉のミドルシュートで反撃し、立て直しに成功したかに見えたが、ＨＣ東京の固いディフェンスを崩すことができず、９－５とＨＣ東京が４点をリードして前半を終える。

後半に入り、北陸電力は連続得点ですぐさま２点差とするが、ＨＣ東京もディフェンスからの速攻などで５連取し、14－７と点差を広げる。北陸電力は相手の退場で何回かチャンスはあったが、ＨＣ東京・元村の好守もあり、最後まで固い守りを崩すことができず、21－10で初戦を落とした。

アラコ九州（一部）　25 ｛15－7／10－10｝ 17　インテックス21（二部）

［戦評］立ち上がりアラコ九州は、インテックス21・呉にマンツーマン・ディフェンスを引き、３連続得点で先制パンチ。その後もアラコ九州は、スピードある速攻を立て続けに決め、前半10分には７－１と大きくリード。インテックス21は山口、崎前の早いボール回しで攻撃するも、アラコ九州・田中のロングシュートやＧＫ谷川の好守もあり、15－７で前半を終える。

後半、アラコ九州はインテックス21・呉へのマンツーマン・ディフェンスはせず、一線ディフェンスにした。後半開始から、インテックス21は呉を中心に反撃。一進一退の攻防が続き、後半15分には20－12とアラコ九州のリードが続く。その後も連続速攻などで着実に得点を重ねたアラコ九州がインテックス21の必死の食い下がりを退け、25－17で勝利を収め、一部残留を決めた。

ＨＣ東京（二部）　24 ｛9－7／15－11｝ 18　北陸電力（一部）

［戦評］前日快勝したＨＣ東京は、この日も積極的なプレス・ディフェンスを仕掛けるが、北陸電力もこれに粘り強く対応し、20分過ぎまで６－６と両チーム互角のゲーム展開。両チームともミスが目立ち、決め手を欠いたまま、９－７とＨＣ東京の２点リードで前半を折り返す。

後半に入るとＨＣ東京は八尾のサイドシュートを皮切りに３連取して勢いに乗り、試合の主導権をつかんだ。その後、北陸電力も神田のシュートで応戦するが、ＨＣ東京の固いディフェンスを崩すことができない。終盤に入り、ようやく北陸電力の持ち味が発揮しかけたかに見えたが、時すでに遅し、24－18でタイムアップの笛が場内に響いた。これでＨＣ東京の一部昇格、北陸電力の二部降格が決まった。

✻ ドイツのトップレフェリーに学ぶ ✻

日本リーグプレーオフは、本田技研と広島メイプルレッズの優勝で幕を閉じましたが、審判部門では例年のように、海外からトップレフェリーを招聘し、大会を華やかにしました。今回招聘されたドイツレフェリーに関して、光島磯雄先生から寄稿がなされましたので掲載いたします。

★フランク・レンメ氏とベルント・ウルリヒ氏
【(マクデブルク出身)(41才)共に】

ドイツレフェリー研修専門誌よりアーヌルフ・ベックマンの取材

現在のドイツ協会レフェリー部門としては、この両人を代表的レフェリーとしてあげており、今回（2001年12月25日からはじまる）スウェーデンで開催されるヨーロッパ選手権大会（EM）の12ペアのうちに選ばれた。この両人はすでに30年以上にわたって（1974年以来、当時12才）知られている。1997年にトルコでジュニア世界選手権大会（WM）の決勝を担当して以来フランスでのWM大会で大きな試練に堪えて、準決勝以上にも十分通用すると評価された。そしてまた忘れられがちであるが、両人ともプレイヤーとしても豊富な経験の持ち主であり、ベルント・ウルリヒはマクデブルクチーム（オーバーリガ・上級リーグ）（当時東独）でプレーし、フランク・レンメはサイド防御プレイヤーとして短期間でナショナルプレイヤー候補となったことも特筆されてよい。

問い：フランスでのWMがおわって、今度はヨーロッパ選手権（EM）となるが、あなたがたにとってどのような意義があるか。

U(ウルリヒ)：識者諸氏は、いつも論議の種にしているが、彼らの評価姿勢はWMがEMよりも高いレベルであるとする。しかしながら私のたしかな感じでは、少なくとも今回のスウェーデンでのEMは予選ラウンド試合でも、従来のWMよりはるかに高レベルにあると考える。

L(レンメ)：WMでは、いつもはじめは安易な試合をスタート経験として割り当てるが、EMではそうとは限らないのが常である（初戦から激戦となる)。

問い：この種の大会に備えてとくに準備したことはなにか？

U(ウルリヒ)：とくにこれといってない。我々としてはいつものとおり信頼に応えるための準備をするだけであり、これまでブンデスリガでやっているとおりにやるつもりである。

問い：フィットネスについては現地で開会前に再チェックされると聞いているが？

L(レンメ)：フィットネスだけではない！到着指定日の翌日には、全レフェリーは「ミニ研修講座」出席がEM組織委員会から義務づけられると同時に、「フィットネステスト」はもちろん「ルールスト」と今回の大会にとくに注意すべきと考える点について「小論文テスト」も課せられる予定である。

問い：なんらかの重点目標が指示されることになるか？

L(レンメ)：そのとおり！それも決して少なくはない！ルール解釈の正しい方向が詳細に項目別に伝達確認させられる。とくに新ルール施行段階で生じているさまざまな問題点についての討議も含まれる。

U(ウルリヒ)：それはそれとして我々はEMがブンデスリガと共通のルールで吹くための最高のトレーニングを受けるわけである。我々としてはこれまでの何年かの経験で、必要なストレス抵抗力は充分に備えているつもりである。

問い：各レフェリーには自身のレフェリング関連のビデオフィルムは提供されるか？

U(ウルリヒ)：もともとそれは無いにひとしい。いままでも大会開始前に各レフェリーに自身の違反レフェリングを認識させるための映像手段は不十分であり、ビデオが配られたことはない。

L(レンメ)：必要なときは、怒りや興奮をともなう難試合のあとなどで、二人で写真やビデオをみて分析・鑑別もおこなう。

問い：EMのような大大会には、あなたがたの基本姿勢または基準線を変えることはしないか？

U(ウルリヒ)：まったく考えていない。インターナショナルゲームはブンデスリガゲームとくらべてはるかに容易である。レフェリーは敬意を払われるし、トレーナー側も異常に忘我的態度をあらわすことはめったにない。

L(レンメ)：我々としてもプレイヤーと無駄に年月をすごしたわけではないし、それ相当の忍耐力と自信はブンデスリガでみずから獲得したと考えている。

問い：フランスでのWMでデビューして以来、あなたがたは2回目の大きな大会の経験となるわけだが今回の目的設定はどのように考えているのか？

U(ウルリヒ)：心の中に矛盾する願望がある。もちろん我々は決勝まで吹くことを望むが、それはドイツチームが勝ちのこらなかった場合しか考えられないことであり、当然ドイツチームの成功を期待する以上、我々がファイナルゲームを担当する名誉とは両立しない。

L(レンメ)：決勝ラウンド担当まで吹かせてもらえなければ(予選ラウンドで用済みとなれば)これもまた結構である。

問い：あたらしくインターナショナルな仲間との付き合いをつくる機会がいまや目前となったわけだが、それについての考えは？

U(ウルリヒ)：もちろんまことに喜ばしいことであり、これまでも種々の機会で他国のトップクラスレフェリーと友好関係を保ってきたが、この面でも進歩したいと思っている。

L(レンメ)：私もEMにはじめて参加するが、ウルリヒとともに良い印象を残して名を売りたいとも考えている。

問い：今後のレフェリー人生で何を望むか？

U(ウルリヒ)：だれしも望むように、一度はオリンピックにも参加したい！

L(レンメ)：そこで決勝を担当できれば、それこそいうことはない!!

（訳：光島磯雄）

第26回日本ハンドボールリーグ成績表　レギュラーシーズン日程終了（3月10日）

順位	【1部男子】	本田	大崎	湧永	大同	本熊	車体	アラコ	北電	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	本田技研	＼	31 28 ○ ○	25 28 ○ ○	27 21 ○ △	25 25 ○ ○	28 27 ○ ○	24 25 ○ ○	24 28 ○ ○	14	13	1	0	27	366	255	111
2	大崎電気	15 13 ● ●	＼	29 23 ○ ○	22 18 ○ ●	30 21 ○ ○	30 21 ○ ●	24 27 ○ ○	32 36 ○ ○	14	10	0	4	20	341	294	47
3	湧永製薬	21 19 ● ●	26 19 ● ●	＼	23 27 ○ ○	35 22 ○ ○	38 28 ○ ○	29 30 ○ ○	29 44 ○ ○	14	10	0	4	20	390	312	78
4	大同特殊鋼	24 21 ● △	17 21 ● ○	22 25 ● ●	＼	31 20 ○ ○	24 33 ○ ○	30 28 ○ ○	24 37 ○ ○	14	9	1	4	19	357	276	81
5	本田技研熊本	18 16 ● ●	19 19 ● ●	19 21 ● ●	25 18 ● ●	＼	18 26 ○ ○	28 25 ○ ○	25 21 ○ ○	14	6	0	8	12	298	317	−19
6	トヨタ車体	19 22 ● ●	20 22 ● ○	23 18 ● ●	18 15 ● ●	16 18 ● ●	＼	25 24 ○ ○	29 35 ○ ○	14	5	0	9	10	304	340	−36
7	アラコ九州	17 19 ● ●	22 19 ● ●	21 20 ● ●	19 15 ● ●	21 23 ● ●	16 19 ● ●	＼	25 28 ○ ○	14	2	0	12	4	284	358	−74
8	北陸電力	14 17 ● ●	13 18 ● ●	26 12 ● ●	14 14 ● ●	16 14 ● ●	14 18 ● ●	18 21 ● ●	＼	14	0	0	14	0	229	417	−188

※上位3チームはプレーオフで順位を決定する。2―3位は、対戦間勝点による。

順位	【1部女子】	広島	日立	オムロン	シャトレ	北国	立山	ブラザー	ムネカタ	ソニー	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	広島メイプルレッズ	＼	28 30 ○ ○	36 27 ○ ●	23 26 ● ○	27 24 ○ ●	34 29 ○ ○	30 26 ○ ○	27 33 ○ ○	32 25 ○ ○	16	13	0	3	26	457	366	91
2	日立栃木	26 25 ● ●	＼	22 24 ● ○	27 22 ● ○	24 21 ○ ○	26 20 ○ ○	25 24 ○ ○	40 31 ○ ○	31 24 ○ ○	16	12	0	4	24	412	312	100
3	オムロン	32 31 ● ○	23 21 ○ ●	＼	32 24 ○ ●	19 32 △ ○	28 30 ○ ○	22 20 ○ ●	31 33 ○ ○	22 19 ○ ○	16	11	1	4	23	419	340	79
4	シャトレーゼ	24 22 ○ ●	29 17 ○ ●	28 26 ● ○	＼	21 23 ○ △	28 25 ○ ●	26 31 ○ ○	31 30 ○ ○	27 23 ○ ●	16	10	1	5	21	411	340	71
5	北国銀行	21 28 ● ○	17 17 ● ●	19 18 △ ●	18 23 ● △	＼	20 23 ○ ○	29 20 ○ ○	42 27 ○ ○	25 24 ○ ○	16	9	2	5	20	371	317	54
6	立山アルミ	28 25 ● ●	22 18 ● ●	25 22 ● ●	19 26 ● ○	17 19 ● ●	＼	26 23 ○ ○	35 33 ○ ○	21 27 ○ ○	16	7	0	9	14	386	361	25
7	ブラザー工業	19 24 ● ●	16 22 ● ●	20 27 ● ○	18 16 ● ●	17 19 ● ●	14 22 ● ●	＼	33 26 ○ ○	24 21 ○ ○	16	5	0	11	10	338	352	−14
8	ムネカタ	23 11 ● ●	13 16 ● ●	17 11 ● ●	17 16 ● ●	14 18 ● ●	14 17 ● ●	15 13 ● ●	＼	22 21 △ ○	16	1	1	14	3	258	491	−233
9	ソニーセミコンダクタ九州	14 13 ● ●	10 13 ● ●	8 10 ● ●	9 24 ● ○	8 14 ● ●	19 12 ● ●	11 11 ● ●	22 17 △ ●	＼	16	1	1	14	3	215	388	−173

※上位3チームはプレーオフで順位を決定する。8―9位は対戦間勝点による。

順位	【2部男子】	HC東京	インテックス21	トヨタ自動車	トクヤマ	大阪ガス	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	HC東京	＼	22 35 ● ○	16 26 ○ ○	22 30 ○ ○	26 29 ○ ○	28 27 ○ ○	10	9	0	1	18	261	153	108
2	インテックス21	23 26 ○ ●	＼	26 27 ○ ○	31 36 ○ ○	37 33 ○ ○	33 35 ○ ○	10	9	0	1	18	307	215	92
3	トヨタ自動車	8 16 ● ●	17 19 ● ●	＼	20 25 ● ○	22 24 ○ ○	24 35 ○ ○	10	5	0	5	10	210	207	3
4	トクヤマ	16 11 ● ●	17 9 ● ●	22 14 ○ ●	＼	30 23 ○ ○	26 24 ○ ○	10	5	0	5	10	192	249	−57
5	大阪ガス	11 18 ● ●	19 27 ● ●	21 15 ● ●	18 21 ● ●	＼	22 31 △ ○	10	1	1	8	3	203	271	−68
6	豊田合成	12 12 ● ●	25 25 ● ●	18 22 ● ●	25 21 ● ●	22 25 △ ●	＼	10	0	1	9	1	207	285	−78

※1―2位、3―4位は対戦間得失点差による。

第25回全国高等学校ハンドボール選抜大会

男子は、氷見（富山）が2年ぶり2回目の優勝
女子は、陽明（沖縄）が初優勝

第25回全国高等学校選抜大会は、全国から男女各40校が参加して、富山県氷見市ふれあいスポーツセンターにおいて、3月23日から28日まで熱戦が繰り広げられた。

女子は、本命のプレッシャーの中で駒を進めた沖縄の陽明高校対、本大会2連覇を狙う大阪の宣真高校の対決となり、前評判どおりの実力を見せた陽明高校が初優勝を飾った。

男子は、九州の代表が4年連続で決勝に進出した。熊本市立千原台高校対、富山の氷見高校となった。大声援の後押しを受け、氷見高校が2年ぶり2回目の優勝を果し、地元開催に花を添えた。

大会運営では、地元役員・高校生補助員がここ数年で幾度となく全国大会を運営することができ、本大会の開催も日本協会並びに全国高体連のご指導の下で2年目を迎え、その経験と反省を生かしての開催となった。

特筆すべきは、氷見市のご理解と、氷見市実行委員会、氷見市ハンドボール協会の多大なご尽力により、市民をまき込んだ活動を展開していただいたことに尽きる。たくさんの住民の方に関心と期待を持って、会場に足を運んでいただいた。会場が立ち見が目立つほどの大観衆で埋め尽くされたことは、地元出場の4チームのみならず、出場選手にとっては何よりの励みとなり、主管する側にとって至上の喜びとなる大会となった。

男　子

○準決勝

市立千原台（熊本）　21（9―11 / 12―9）20　興南（沖縄）

［戦評］前半2分、千原台⑪千々波のシュートを皮切りに両チーム得点を重ね、13分まで興南7点、千原台6点と互いに一歩も譲らず。その後、互いに攻め手を欠き、得点がなくスローな展開になった。再びゲームが動いたのは、23分興南②屋嘉部の得点から。終盤には、両チームが激しい攻防を繰り広げ、興南が千原台を11対9とリードして前半を折り返した。後半の先制は、興南③前里のミドルシュートで。しかし、千原台は⑥友田の速攻での得点から反撃を開始。11分には、千原台③橋本の切れのあるフェイントからのシュートで16対16と同点に追いつき、13分には⑪千々波のシュートで逆転に成功。今度は、興南が千原台を追う展開へ。28分には千原台は2人の退場者を出し、苦しい場面に。しかし、最後は千原台が追いすがる興南を21対20で振り切った。（本川久直）

氷見（開催県）　20（10―9 / 10―10）19　法政第二（神奈川）

［戦評］前半、先制は氷見⑥海道の7mTでの得点。対して法政は、2分⑦出口の高さのあるジャンプシュートを皮切りに4点を連取。負けじと氷見も⑦谷口のサイドからの

ループシュートなどで4点連取で応戦し、11分には5対4とリード。法政は16分から3点連取で再び7対5と逆転を果たす。中盤からは互いに一歩も引かない展開に。28分に再び8対8の同点になるが、前半終了間際に氷見⑨中野がパスカットからの速攻で1点もぎ取り、氷見が法政を10対9と一歩リードして折り返した。後半の先制も氷見。退場を一人出しながら、④石戸のサイドからの得点。序盤は両キーパーの好セーブが光り、得点が動かず。14分までに氷見は⑥海道の相手のすきを突くステップシュートなどで得点を重ね、17対13と法政を突き放しにかかる。対して法政も24分までに4点連取で食い下がり、17対17の同点に追いつく。終盤は、両チームが1点を奪い合う見応えのある好ゲームになった。終了直前、氷見⑦谷口のサイドシュートが決勝点になり、氷見が法政を20対19で押し切った。

（本川久直）

○決　勝

氷見（開催県）　23（13—11 / 10— 4）15　市立千原台（熊本）

［戦評］前半開始早々、県立氷見⑥海道がシュートを決めると、市立千原台も⑪千々波がスカイプレーで得点を入れ、県立氷見はスピード、市立千原台は⑦山本、⑪千々波、⑥友田がよく動き得点した。県立氷見は、①出戸の再三の好セーブと鋭いあたりで市立千原台の動きを抑え、④石戸の大車輪の活躍と７ｍＴを着実に決めて、前半をリードして終了した。後半、市立千原台の厳しい守りに県立氷見は得点が決まらず、逆に市立千原台の速攻を決められ、13分に逆転を許した。16分県立氷見は⑤松田のシュートで同点に追いつくが、すぐに市立千原台に再逆転された。県立氷見は、市立千原台のファールから18分７ｍＴを⑥海道が決め、その流れをつかみ、２分間退場の間にリードを広げた。県立氷見は、市立千原台の激しい攻撃を①出戸の好セーブとスピードにのったディフェンスで守りきり、逆にリズムをつかんでリードを広げていった。後半19分からは、怒濤の攻撃で市立千原台を無得点に抑えながら８得点連取し、２年ぶり２回目の優勝を決めた。　（清田尚登）

女　子

○準決勝

陽明（沖縄）　31（21—11 / 10—13）24　桜花学園（愛知）

［戦評］前半、開始早々県立陽明②翁長がシュートを決めると、県立陽明は自分たちのリズムをつかんだ。④東の７ｍＴを含む４連続得点で完全に波に乗った。桜花学園は、初めは堅さが見られたが、③柏原の得点から堅さもとれ、９分には逆転したが、県立陽明の早めのチェック、厳しいディフェンスに阻まれミスを重ね、逆に県立陽明の速攻を誘い、リードを徐々に広げられていった。後半序盤、桜花学園は①山下の好セーブで徐々にリズムをつかみ、③柏原の大車輪の活躍で、点差を徐々に縮めていった。県立陽明は⑪仲宗根が５連続得点をするなど、優勢を保ちながら落ち着いてプレーした。速攻、ポストプレーなど多彩な攻撃をし、追いすがる桜花学園を突き放した。スピードと高さに勝る県立陽明が、始終優位に試合を進めて勝利した。

（清田尚登）

宣真（大阪）　28（16—８ / 12—７）15　昭和学院（千葉）

［戦評］前半、昭和学院は⑩高橋がひとりで７得点をあげる活躍、早いチェックと激しいディフェンスで宣真の攻撃に必死に食い下がった。しかし、高さとスピードに勝る宣真は⑦藤井、③植垣らの活躍でコンスタントに得点を重ね、優位に試合を進め、大きくリードして前半を終了した。後半も宣真は攻撃の手を緩めず、⑨津村、⑩宮本らが着実に得点し、徐々にリードを広げていった。昭和学院は、宣真の激しい当たり、高いディフェンスと①河崎の好セーブに、攻撃がほとんど押さえられた。後半も、昭和学院は⑩高橋一人が５得点をあげ気をはいた。宣真は、後半においてもスピード、積極性が衰えず、安定した強さを見せ快勝した。

（清田尚登）

○決　勝

陽明（沖縄）　26（13—７ / 13—11）18　宣真（大阪）

［戦評］序盤、試合の主導権を握った陽明、⑤東濱のロングシュート、⑪仲宗根、④東のカットイン、⑬翁長、⑨斉藤のサイドシュートなど多彩な攻めで得点を重ねた。それに対し、宣真も③植垣のロングシュートやポストプレーで応戦した。しかし、宣真は陽明のゴールキーパー⑫外間の好セーブなどもあり、シュートが決まらず、少しずつリードを許し、前半を13対７の陽明リードで折り返した。後半に入り、宣真が地力を見せ、③植垣のロングシュートによる４得点や⑩宮本の３得点などにより徐々に点差をつめ、一時は３点差まで追いすがった。しかし、終盤、陽明が７ｍスローを機に再び突き放し、昨年の覇者宣真を26対18で下し、初優勝に輝いた。

陽明は、速いパス回しからの高度なバックパスやスカイプレーなど、その技術の高さを見せ、観衆を魅了するなど、決勝戦にふさわしい好ゲームとなった。　（山田章仁）

第25回 全国高校選抜大会結果

【男　子】

優勝　氷　見　15—23

出場校

左ブロック	右ブロック
興南（沖縄）	駿台甲府（山梨）
県立高松工芸（香川）	市立岐阜商業（岐阜）
府立向陽（京都）	県立那覇西（沖縄）
國學院大學栃木（栃木）	此花学院（大阪）
県立利府（宮城）	県立羽後（秋田）
北陸（福井）	県立香川中央（香川）
霞ヶ浦（茨城）	九州産業大学付属九州産業（福岡）
県立添上（奈良）	県立伊奈（茨城）
県立国分（鹿児島）	県立下松工業（山口）
県立四日市工業（三重）	県立氷見（開催地・富山）
県立岩国工業（山口）	府立洛北（京都）
久留米工業大学附属（福岡）	県立小林工業（宮崎）
育英（兵庫）	法政大学第二（神奈川）
横浜商工（神奈川）	修道（広島）
函館大学付属有斗（南北海道）	道立釧路工業（北北海道）
県立不来方（岩手）	県立松蔭（愛知）
県立高岡商業（富山）	県立屋代（長野）
県立春日井南（愛知）	県立青森商業（青森）
浦和学院（埼玉）	県立富岡（群馬）
熊本市立千原台（熊本）	瓊浦（長崎）

試合結果

対戦	スコア
県立高松工芸 — 府立向陽	12—20
興南 — 府立向陽	18—15
國學院大學栃木 — 県立利府	23—15
興南 — 國學院大學栃木	32—10
北陸 — 霞ヶ浦	28—20
県立添上 — 県立国分	24—25
県立国分 — 県立四日市工業	19—31
北陸 — 県立四日市工業	31—27
興南 — 北陸	28—22
久留米工業大学附属 — 育英	32—30
県立岩国工業 — 久留米工業大学附属	22—24
横浜商工 — 函館大学付属有斗	31—18
久留米工業大学附属 — 横浜商工	17—26
県立不来方 — 県立高岡商業	21—17
県立春日井南 — 浦和学院	16—22
浦和学院 — 熊本市立千原台	11—19
県立不来方 — 熊本市立千原台	12—29
横浜商工 — 熊本市立千原台	23—24
興南 — 熊本市立千原台	20—21
市立岐阜商業 — 県立那覇西	16—25
駿台甲府 — 県立那覇西	27—28
此花学院 — 県立羽後	25—19
県立那覇西 — 此花学院	38—28
県立香川中央 — 九州産業大学付属九州産業	16—18
県立伊奈 — 県立下松工業	23—17
県立伊奈 — 県立氷見	16—21
九州産業大学付属九州産業 — 県立氷見	18—21
県立那覇西 — 県立氷見	21—30
県立小林工業 — 法政大学第二	13—16
府立洛北 — 法政大学第二	19—24
修道 — 道立釧路工業	22—11
法政大学第二 — 修道	31—14
県立松蔭 — 県立屋代	21—10
県立青森商業 — 県立富岡	19—26
県立富岡 — 瓊浦	13—25
県立松蔭 — 瓊浦	22—18
法政大学第二 — 県立松蔭	24—14
県立氷見 — 法政大学第二	20—19
決勝　熊本市立千原台 — 県立氷見	15—23

第25回 全国高校選抜大会結果

【女　子】

桜　花　学　園（愛知）
県立新居浜東（愛媛）
県　立　山　梨（山梨）
県立倉敷中央（岡山）
県立佐世保西（長崎）
聖　和　学　園（宮城）
県立鹿児島南（鹿児島）
横浜創英短期大学女子（神奈川）
大阪市立桜宮（大阪）
県　立　氷　見（開催地・富山）
県　立　華　陵（山口）
県立栃木商業（栃木）
府　立　洛　北（京都）
県立四日市四郷（三重）
道立釧路湖陵（北北海道）
県立水海道第二（茨城）
県立大曲農業（秋田）
夙　川　学　院（兵庫）
県立福井商業（福井）
県　立　陽　明（沖縄）

優勝　陽明　26—18

熊　本　国　府（熊本）
高　岡　向　陵（富山）
東　海　学　園（愛知）
神　戸　星　城（兵庫）
佼成学園女子（東京）
昭　和　学　院（千葉）
暁（三重）
高　　水（山口）
県立盛岡第二（岩手）
北海道札幌月寒（南北海道）
小　松　市　立（石川）
初　芝　橋　本（和歌山）
宮　崎　女　子（宮崎）
埼　玉　栄（埼玉）
県立香川中央（香川）
古　川　商　業（宮城）
県立大分鶴崎（大分）
県立横浜日野・野庭（神奈川）
県　立　高　山（岐阜）
宣　　真（大阪）

高専も日本協会に仲間入り

㈳全国高等専門学校体育協会ハンドボール競技専門部委員長　古　屋　正　俊

✲ 加盟団体に

平成14年２月23日の評議委員会において、㈳全国高等専門学校体育協会ハンドボール競技専門部（専体協）が日本ハンドボール協会の加盟団体として認可されました。これまで日本協会の登録種別として「高専」は区分されていましたが、各「高専」チームを統括する専体協が、高専の内部事情の関係で正式に加盟団体となっておらず、日本協会との組織運営上の連携が十分に取れない状況にありました。

平成14年度より加盟団体となることにより、日本協会との連携をより密にし、各高専チームに日本協会の活動方針や最新情報を的確に伝えることが可能となりました。日本協会の一員として、高専の大会運営の質を高め、競技力の向上や競技者数の拡大、生涯スポーツも視野に入れたハンドボールの魅力を高専関係者に幅広く浸透させていく上で、今回の日本協会への加盟は、大きなスプリングボードになるといえます。

✲ 高専の現状

高等専門学校は、高度経済成長を背景に1962年に15歳から20歳の５年間一貫教育による技術者養成の高等教育機関として設立されました。全国に54の国立高専（沖縄にも創設準備室設置中）、５つの公立高専、３つの私立高専があり、在籍学生数は約５万５千人。厳しい経済不況にもかかわらず、高専卒業生への求人は大変高い実績（参考：筆者の勤務校の場合、平成13年度の求人倍率23倍、求人会社総数2019社）を維持しています。また理工系大学への編入学（３年生に編入）も増加しており、多くの大学から高専に募集要項が届き、卒業生の門戸がさらに広がってきています。

高専は受験勉強に煩わされずに課外活動に専念できる環境にあり、話題性のあるＮＨＫロボットコンテストを始め、プログラミングコンテストや文化発表会等が毎年盛んに開催されています。スポーツに関してはハンドを含む14種目で全国高専体育大会を実施しており、高専生の最も関心の高い伝統大会として全国各地で熱戦が展開され、高専生の交流の輪を広げています。

✲ 高専のハンドボール

部活動としてハンドボールを実施している高専は現時点で38校（同好会含む）。全国62高専の中でのハンドボール実施率は６割を超えます。専体協はチーム数38と大変小さな組織ではありますが、他の日本協会加盟団体の中ではハンドボール実施率は高く、チーム数もこの10年間では横ばいからやや微増傾向にあります。マイナースポーツとして新入部員の確保には苦労しながらも、高専は受験勉強も無く５年のサイクルでチーム作りができ、顧問教官の移動もほとんど無いことが、チーム活動を継続する上で大きな支えになっています。

昭和49年に新潟県柏崎市においてスタートした全国高専ハンドボール選手権大会も今夏の花巻大会で29回目を迎えます。この大会は全国８ブロックの都道府県が持ち回りで毎年８月に開催し、各ブロックの予選を勝ち抜いた12チームによる予選リーグ、決勝トーナメント方式で実施しています。高専といった小さな組織でありながら、本大会をここまで継続できたのは日本協会、各都道府県協会の強力なご支援の賜物といえます。改めて感謝申し上げます。

✲ 今後の活動

今春で２回目となる高専春季チャレンジカップでは、現役チームに混ざって各高専ＯＢの統合チームも数チームが参加し、大会を盛り上げました。各チーム持参の名物土産の交換会が恒例となった本大会は、現役もＯＢも顧問もコーチも審判も、高専ハンドにかかわる関係者全てが、共にハンドボールを楽しめる新たなフェスティバルとして育ってきています。

「高専ハンドボーラーに引退は無し」をモットーに、生涯スポーツとして、それぞれのライフスタイルに応じてハンドボールをより長く楽しめるよう、専体協では高専ハンドのネットワークと大会の充実を図っていきたいと考えています。高専ハンドの普及発展に向けて、日本協会を始め関係各位には今後とも大変お世話になりますが、高専の実情をご理解賜り、一層のご指導ご支援をお願い申し上げます。

NTS2001センタートレーニング推薦参加者について

(財)日本ハンドボール協会
NTS運営委員会　委員長　蒲　生　晴　明

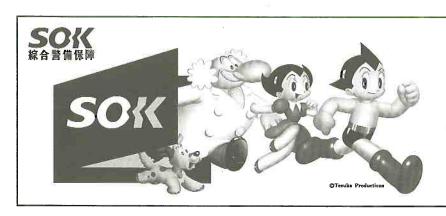
前号・前々号にNTS2001センタートレーニング実施について、掲載いたしましたが、今回は標記のとおり推薦された参加者を掲載いたします。

NTS（ナショナルトレーニングシステム）については、この機関誌や民間誌スポーツイベントなどにその考え方や進め方などを掲載させていただいておりますが、まだまだ日本全国レベルまでの浸透は不十分であると考えております。

2001年度は、ブロック技術委員長を選出していただき、日本ハンドボール協会→ブロックハンドボール協会への展開について、多大なるご協力をいただいてスムースに開催できました。ご関係の方々には感謝するところであります。

さて、NTSは、文部科学省が奨励している「スポーツ振興基本計画：平成12年9月13日」の中で「一貫指導システム」として「競技者育成プログラム」という名称になっております。このシステムは、日本を代表する競技者を「いち早く発掘」「良い環境で育成」「そして世界で勝負」という段階を各種競技毎に実践していくためのシステムであります。

同時に、指導者を育成強化していくこととシステムを実行することによっての普及活動としております。ブロックトレーニングやセンタートレーニングには、推薦された選手と所属の指導者のみだけでなく、指導者がフリーに参加できるシステムです。指導者の方には、トレーニングに参加していただき、新しいコーチングの方法などを実際に見ていただき、毎日のトレーニングに役立ていただきたいと考えております。今までの、日本のスポーツ界は育ってきた選手を選抜して世界と闘ってきましたが、それでは世界で勝てなくなってきました。世界の強豪国は、ジュニア層から発育発達の段階に応じた指導方法を確立して、その時期に適した育成環境を保有しております。そして、育成していく中で優秀な人材を色々な目で見て、優秀な選手がいたならば、次の段階へのステップアップ環境を整えていくのです。そう言った意味で、推薦された選手だけのトレーニングだけではなく、日本ハンドボール界全体で育成方法を意思統一して推薦されなかった選手にも、そのチャンスを与えていくためのシステムであることを強調させていただきます。

2002年度は、ブロックトレーニングやセンタートレーニングに色々な指導者の方に参加していただきたいと考えております。さらに、現在県レベルでのNTS実施を模索しております。課題・問題点などがあると思われますが、皆様のご協力とご理解をいただきながら、広く展開していけるように邁進していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

NTS2001センタートレーニング参加者(小学生男子)

	氏　名	学年	都道府県	学校・チーム名	指導者
1	松山　浩基	6	北海道	高盛小	高田智史
2	竹中　龍一	6	北海道	高盛小	高田智史
3	堀井　雅彦	6	茨城	守谷ク	武藤康夫
4	蔵園　亮太	6	茨城	守谷ク	武藤康夫
5	新井　裕規	6	群馬	富岡イーグルス	野口節朝
6	土井　杏利	6	千葉	日吉台H	高橋　鉄
7	田中　翔	6	東京	SHC鶴巻	白石哲三
8	藤　祐彌	6	富山	窪	
9	安井　勇二	6	京都	桃園小	西城
10	古江　航己	6	京都	桃園小	西城
11	西山　慎	6	奈良	真弓小	
12	本多　翔吾	6	岡山	総社ク	村木理恵
13	萬水　寛貴	6	山口	下松	飯田圭子
14	朝原　将太郎	6	広島	甲田ク	倉田英治
15	比嘉　一薫	6	沖縄	沢岻	稲福　正
16	東江　太輝	6	沖縄	兼原	城間正人
	16名				11名

NTS2001センタートレーニング参加者(小学生女子)

	氏　名	学年	都道府県	学校・チーム名	指導者
1	脇田　美菜子	6	茨城	筑波学園ク	
2	浅田　悠香	6	茨城	筑波学園ク	
3	田仲　有紗	6	千葉	日吉台H	
4	窪田　夏実	6	千葉	日吉台H	
5	中江　菜緒	6	富山	仏生寺	林　外美
6	蜷川　悦子	6	富山	蜷川	
7	島岡　希	6	京都	桃園小	
8	松岡　成美	6	京都	桃園小	
9	三宅　淳未	6	奈良	真弓小	
10	中西　望	6	大阪	貝塚バーディーズ	木田　武夫
11	下崎　優子	6	山口	櫛ヶ浜	
12	原田　侑子	6	山口	柱野	
13	前　奈宜紗	6	広島	甲田ク	
14	岩本　真理	6	熊本	当尾	岩本　百合
15	仲原　愛美	6	沖縄	当山	呉屋　智之
16	阿部　麻里奈	6	沖縄	神森	
	16名				4名

NTS2001センタートレーニング参加者(中学男子)

	氏　名	推薦先	推薦先	都道府県	学校	指導者
1	羽原　章悟	NTS		北海道	光成	
2	小川　雅也	NTS		茨城	けやき台	増田　徹
3	古谷　正人	NTS		茨城	けやき台	増田　徹
4	塚本　博樹		U-16候補	茨城	けやき台	増田　徹
5	石井　曹嗣	NTS		群馬	下仁田東	勅使河原　誠
6	篠田　巧	NTS		埼玉	吉川中央	石塚　廣一
7	海保　直樹	NTS		千葉	市川一	
8	沖村　昭宏		U-16候補	東京	鹿骨	
9	小田　昌利	NTS		静岡	清水二	
10	棚橋　正	NTS		愛知	高杉	
11	山下　寛人	NTS		愛知	八幡	
12	新井　真人		U-16候補	愛知	笹島	
13	松沢　太郎		U-16候補	愛知	知多	
14	西村　英	NTS		愛知	知多	
15	高山　義邦	NTS		愛知	高杉	
16	大久保　裕基		U-16候補	三重	羽津	
17	石戸　貴章	NTS		富山	氷見北部	
18	清水　翔太	NTS		富山	氷見北部	
19	森本　達也		U-16候補	富山	氷見北部	
20	山崎　光展	NTS		福井	高浜	
21	小山　太三	NTS		大阪	豊中二	
22	夏山　陽平	NTS		大阪	豊中13	吉田　敏明
23	平井　克智	NTS		大阪	東	平井　信一
24	木村　雅俊	NTS		奈良	三郷	
25	野村　喜亮	NTS		山口	住吉	堀本　進
26	吉田　慶太	NTS		広島	甲田	西岡　真
27	岡本　和也	NTS		山口	岐陽	河村　康男
28	宮内　祐己	NTS		愛媛	久米	堀内　佐波
29	谷村　遼太		U-16候補	香川	光洋	
30	久保　有希	NTS		福岡	吉塚	吉村　浩
31	森田　智史	NTS		佐賀	神崎	
32	溝口　輝	NTS		長崎	日吉	兼平　嘉信
33	竹田　勇輝	NTS		長崎	日吉	
34	萩坂　幸道	NTS		熊本	松橋	
35	村上　勝久	NTS		熊本	山鹿	浦塘　勝彦
36	山口　洋平	NTS		熊本	都呂呂	
37	甲斐　昭人	NTS		宮崎	小林三松	木切倉　進
38	棚原　良	NTS		沖縄	浦西	
39	大浦　優	NTS		沖縄	神森	
40	城間　俊也		U-16候補	沖縄	港川小	波津周史
	40名					14名

NTS2001センタートレーニング参加者(中学女子)

	氏　名	推薦先	推薦先	都道府県	学校	指導者
1	大川内　香		U-16候補	福島	二瀬	
2	木村　千尋	NTS		茨城	岩井	古矢　勲
3	倉持　侑子	NTS		茨城	岩井	
4	佐藤　那津希	NTS		茨城	岩井	
5	小菅　由貴	NTS		群馬	富岡東	市川　禎治
6	大阪　絵里子		U-16候補	東京	平山	
7	松下　実沙子		U-16候補	東京	鹿骨	
8	外門　まりえ	NTS		愛知	宮	久野　大輔
9	藤川　明奈	NTS		愛知	扇台	
10	石立　真悠子	NTS		福井	明倫	高野　郁代
11	臼井　さや香	NTS		福井	明倫	高野　郁代
12	北川　菜月	NTS		福井	大東	加納　壽宏
13	泉　直美	NTS		福井	明倫	高野　郁代
14	久保　真佑美		U-16候補	福井	大東	加納　壽宏
15	上田　雅子	NTS		大阪	住吉第一	
16	栗本　愛佳	NTS		奈良	安堵	藤田　秀之
17	山下　裕美子	NTS		奈良	上	
18	住野　有梨		U-16候補	兵庫	大久保北	
19	佐々木　絵里	NTS		山口	末武	河井　剛史
20	石原　直美	NTS		岡山	操南	中谷　幸生
21	葉山　絵里香	NTS		山口	住吉	
22	淀谷　美里	NTS		香川	山田	安部　幸子
23	八重　安由美	NTS		香川	香東	平野　雅也
24	外本　由佳	NTS		福岡	甘木	
25	小川　景子	NTS		長崎	小島	荒川　洋一
26	山口　栄美	NTS		長崎	小島	荒川　洋一
27	三浦　真理絵	NTS		長崎	原川	長尾　明徳
28	桑村　薫	NTS		熊本	宇土鶴城	中野　靖士
29	小松　史果	NTS		熊本	都呂々	松本　政之
30	下竹　友美	NTS		鹿児島	隼人	隅元　俊和
31	内間　小百里	NTS		沖縄	仲西	神谷　加代子
32	比嘉　隅香		U-16候補	沖縄	神森	
33	儀間　晴香		U-16候補	沖縄	仲西	
	33名					16名

NTS2001センタートレーニング参加者(高校男子)

	氏　名	推薦先	推薦先	都道府県	学校	指導者
1	早川　太一	NTS		北海道	石狩南	三村　未道
2	長田　祥典	NTS		北海道	苫小牧工業	加藤　唐仁
3	今　祐大	NTS		青森	青森	
4	佐々木　洋介	NTS		岩手	盛岡第一	
5	山田　真太郎	NTS	U-19候補	福島	学法石川	
6	大江　義人	NTS		茨城	伊奈高	滝川　一徳
7	神通　康兵	NTS		茨城	伊奈高	滝川　一徳
8	榎本　貴保	NTS		埼玉	浦和学院	岩本　明
9	武井　大	NTS		千葉	東京学館	
10	岸川　英誉	NTS		栃木	國學院栃木	
11	福島　久修	NTS		愛知	愛知	
12	村井　基光	NTS		愛知	春日井南	
13	山口　紀明	NTS		大阪	北陽	
14	三宅　祐介	NTS		岡山	倉敷青陵	
15	中西　栄進	NTS		和歌山	紀北農芸	
16	林　昌彦	NTS		山口	岩国工業	
17	松嶋　秀明	NTS		広島	修道	
18	徳永　昌亮	NTS		福岡	香椎	
19	岩永　生	NTS	U-19候補	長崎	瓊浦	
20	志水　孝行	NTS	U-19候補	長崎	瓊浦	
21	小川　直宏	NTS		長崎	瓊浦	
22	前田　洸	NTS	U-19候補	長崎	瓊浦	
23	小林　宏匡	NTS	U-19候補	大分	大分国際情報	
24	東長濱　秀作	NTS	U-19候補	沖縄	興南	
25	大城　一晃	NTS	U-19候補	沖縄	那覇西	
26	久保宮　大		U-19候補	茨城	伊奈	
27	谷内　敏彦		U-19候補	岩手	不来方	
28	富田　恭介	NTS	U-19候補	群馬	富岡	
29	地引　貴志		U-19候補	茨城	伊奈	滝川　一徳
30	門山　哲也	NTS	U-19候補	埼玉	浦和市立	
31	高林　良光		U-19候補	富山	高岡向陵	大房　重則
32	高野　一樹		U-19候補	石川	北陸	
33	井川　将彦		U-19候補	石川	小松明峰	
34	松山　徹		U-19候補	大阪	此花学院	
35	兼本　浩誉		U-19候補	大阪	桃山学院	高橋　精一
36	小島　康次		U-19候補	大阪	桃山学院	高橋　精一
37	野口　龍弥		U-19候補	長崎	瓊浦	
38	船木　浩斗		U-19候補	長崎	瓊浦	
39	千々波　英明		U-19候補	熊本	千原台	
40	浦田　悠司		U-19候補	熊本	熊本国府	
41	河内　謙太		U-19候補	熊本	熊本国府	
42	前川　辰憲		U-19候補	沖縄	那覇西	
43	大城　章		U-19候補	沖縄	那覇西	
	43名					6名

NTS2001センタートレーニング参加者(高校女子)

	氏　名	推薦先	推薦先	都道府県	学校	指導者
1	和島　文依	NTS		青森	青森中央	町屋　明彦
2	田口　七絵	NTS		岩手	盛岡第二	
3	竹鼻　瑶子	NTS		岩手	盛岡第二	
4	佐藤　由紀絵	NTS		秋田	大曲農業	
5	北村　さやか	NTS		茨城	水海道二	
6	猪俣　晶子	NTS		茨城	伊奈	
7	鈴木　真理子	NTS		千葉	東邦	河村　英明
8	大畑　友香	NTS		静岡	清水市商	
9	用川　行美	NTS		愛知	中女附	布垣　元也
10	川上　沙矢香	NTS		愛知	天白	山口　伸
11	村上　加七子	NTS		岐阜	高山	
12	後藤　理恵	NTS		石川	小松市立	
13	宮下　視久美	NTS		石川	小松市立	
14	真鍋　奈緒美	NTS		大阪	桜宮	
15	天野　裕美子	NTS		大阪	東淀川	前田　保彦
16	福島　優加	NTS		京都	洛北	
17	松居　奈々恵	NTS		滋賀	彦根翔陽	
18	内富　仁美	NTS		山口	華陵	
19	尾崎　由佳	NTS		山口	岩国商業	
20	松本　真由子	NTS		岡山	玉野光南	額田　都
21	東川　夏美	NTS		香川	香川中央	泉谷　俊郎
22	堀地　麻衣子	NTS		愛媛	新居浜東	柳原　勉
23	井上　光世	NTS		大分	大分鶴崎	
24	伊藤　瞳	NTS		大分	大分鶴崎	
25	前田　美緒	NTS		鹿児島	鹿児島南	
26	西銘　奈々子	NTS		沖縄	那覇西	喜舎場　淳一
27	東　のぞみ	NTS		沖縄	陽明	
28	築山　佳奈		U-19候補	熊本	松橋	
29	中島　さやか		U-19候補	熊本	松橋	
30	的場　みなみ		U-19候補	鹿児島	鹿児島南	
31	早川　由美		U-19候補	埼玉	浦和実業	
32	野路　良子		U-19候補	埼玉	浦和実業	
33	高田　裕梨		U-19候補	福井	福井商業	
34	菅藤　麻未		U-19候補	東京	文大杉並	
35	大橋　沙弥香		U-19候補	宮城	聖和	
36	及川　まり子		U-19候補	愛知	桜花	
37	伊藤　亜衣美		U-19候補	宮城	聖和	
38	田中　里奈		U-19候補	三重	暁	平賀　達也
39	矢野　祐子		U-19候補	三重	暁	平賀　達也
40	平川　麻衣		U-19候補	愛媛	今治北	
41	鈴木　美保		U-19候補	大分	大分鶴崎	
	41名					10名

新しい姿を見た！

企画・広報委員
早川　文司

Free Throw（フリースロー）

例年になく早く華麗な花を咲かせた桜だったが、ハンドボール界にも美しい桜が咲きほこった。日本リーグプレーオフとリーグ入れ替え戦のことだ。

男子のＨＣ東京の１部昇格、そして女子・広島メイプルレッズの優勝(旧イズミを含めて４年連続５度目)である。

ＨＣ東京は前回リーグで活動を休止した三陽商会のメンバーを中心に元中村荷役を加えて、地域クラブとして新たなスタートを切ったチーム。実績から見て入れ替え戦出場は当然との見方もあったが、クラブとしての厳しいハンディを乗り越えての２部１位は、各選手、スタッフのハンドボールをこよなく愛する情熱の結果と言わざるを得ない。そして北陸電力との入れ替え戦。積極的なＤＦとエネルギッシュな攻撃がかみ合い２連勝、文句なく昇格を決めた。「強く　愛され　そして開かれた」の合言葉を鮮やかにコートに爆発させてくれた。

一方のメイプルレッズも昨年７月、イズミから企業の共同出資によるクラブに移行した。練習時間など環境が一変した中でのレギュラーシーズン１位、そしてプレーオフ優勝は並み大抵の努力では達成出来ないのもであろう。そして近く運営する広島女子ハンドボールクラブが民間非営利団体（ＮＰＯ）の認証取得を目指すことになった。この動きは協賛企業を得られやすい環境を整えられるし、クラブ側にもメリットがある。将来的には他競技参加も視野に入れ、総合型スポーツクラブへのきっかけにもなりそうだ。

ハンドボールだけでなく、多くの企業スポーツが岐路に立たされている今、企業や学校のクラブ活動に依存してきた日本のスポーツ界にとってのいい指針となるのではないだろうか。地域とともに歩むスポーツクラブへの移行は、むしろ今後は自然な成り行きといっていいだろう。

日本リーグでは女子の活動休止が前回リーグ中に相次いだ。このままでは今後のリーグ存続にも大きな影響を与えかねない深刻な状況だ。日本協会に新設されたマーケティング委員会は、企業スポーツの休廃部による活動休止に、地域型クラブチームへの移行支援、育成サポートを基本方針のひとつになっている。リーグとしてのサポートも大切だが、地域との連動は欠かせない日本スポーツ界になってきたようだ。ＨＣ東京といい、メイプルレッズといい、その活躍は多くのチーム、ファンに勇気と感動を与えた。これからの歩みに注目が集まっている。今後の活動ぶりに期待したい。

いい空を。いい時間を。

もっとくつろげる空へ。もっと楽しめる空へ。
あなたの空を笑顔で満たしたいから。
日本で、そして世界中で。あなたに、いい空を、いい時間をお届けしたい。
私たちひとりひとり、心を込めて、お迎えいたします。

国内線のお問い合わせは、☎0120-029-222　国際線のお問い合わせは、☎0120-029-333　または、お近くの全日空代理店まで。
全日空ホームページ www.ana.co.jp

平成13年度
コーチレフェリーシンポジウム報告1

平成13年度コーチレフェリーシンポジウムが3月8日㈮～10日㈰の3日間、東京代々木オリンピック記念青少年総合センター及び日本女子体育大学において開催された。このシンポジウムは今日的なハンドボール界をとりまく諸問題、効果的指導法、判定をめぐる諸問題の分析・検討等をテーマに指導者・レフェリーの資質向上を目指して2年に一度行われているものである。

今年度も全国各地からコーチ部門75名、審判部門40名の参加者が集まり、16時間におよぶ講演・発表について熱心に耳を傾けた（表1）。今年度の実技講習会は新たな試みとして注目された。また新ルールについてのコーチとレフェリーのディスカッションではお互いの立場を尊重しながらの意見が活発に出され、会場の熱気に圧倒されるほどであった。

今号から数回にわたり内容の抜粋を報告していきたい。

表1　平成13年度コーチ・レフェリーシンポジウム　日程表

時間	3月8日(金)		時間	3月9日(土)		時間	3月10日(日)
			8：30	コンピュータを使った戦術分析		8：30	ＮＴＳ報告
			9：30	平岡　秀雄		9：30	２年目を終えて
			9：40	女子世界選手権視察報告		9：40	女子ナショナル戦術
			10：00	勝田　隆		10：40	伊藤前監督
			10：10	男子ナショナル戦術		10・50	スポーツ界の現状
				オリンピック予選より		11：50	杉山 茂
			11：40	田口監督			
	日本女子体育大学	青少年センター		昼　食			解　散
13：00	受　付		13：00	コーチ部門	レフェリー部門		
	コーチ部門	レフェリー部門		中学校指導について	ワークショップ		
	開会挨拶	基調講演		区立鹿骨中学校	1、レフェリーの人材確保		
	大西専務理事	斉藤審判長		武末先生	座長　岸本　光夫		
14：00	実技講習会1	判定の縦断的解析	14：00		2、レフェリーの育成法		
	女子ナショナルコーチ	司会　斉藤　実	14：10	高等学校指導について	座長　島田　房二		
		トップレフェリーの		長崎瓊浦高校	3、国際レフェリーの		
15：30	ファンキョンヨン	ゲームメイキング		樫山先生	育成法		
		パネリスト　家永　他			座長　後藤　登		
15：40	実技講習会2	競技規則研究	15：10				
	男子ナショナル監督		15：30	新ルール施行にあたって			
	田口　隆	講師　岸本　光夫		講師　岸本　光夫			
17：10			17：00				
				夕　食			
			18：30	パネルディスカッション			
			20：30	コーチ・レフェリー合同			

開会挨拶
コーチ部門　大西専務理事

1　学ぶ事と考える事

このシンポジウムは自分が学ぶいい機会です。孔子曰く「学ぶ事、それを元に考える事が一番大切である」。指導者だけでなく教えている選手に対しても「学ぶ姿勢と自分で考えて自分のものを創造していく」という２つの側面を教えていくべきではないでしょうか。

2　日本のハンドボール全体の発展を

普及の面も今後の先行きが心配な状況です。2002年は新学習指導要領が完全実施されます。なんとか全国民がハンドボールを学ぶ機会が持てるよう、小学校で新しく指導要領に加えられたことを契機に考えていく所存でございます。日本の風土としては学校体育が基本となっていますが、学校だけでなく学校を中心とした地域スポーツとして普及をすすめるというように、考え方を大きく持って進めていきたいと思います。指導者の皆さんにはいい指導をして自分

のチームを強くするだけでなく、日本のハンドボール全体が発展していくよう広い視点での活動にも協力していただきたくお願いいたします。

3　皆さんの御意見を

専務理事としては力不足で皆さんの御期待になかなかお答えできませんが、同じ指導者として、皆さんの御意見を伺いながら一緒に頑張っていきたいと思っております。

中学校の指導について

江戸川区立鹿骨中学校　武末　潤

専門は剣道ではあり、中学時代しかハンドボールをやっていないが、相手との間合いなど剣道と相通じる事が多くある。

○部活動の目標・目的…教師自身が明確にしておく必要がある。

〈目標〉運動部である以上、大会での優勝を目指す。決勝戦で負けても、１回戦で負けても同じである。優勝を目指して努力し、その結果負けてしまった時に、教員側がその過程での努力を認めることが大切である。そのためにも、誉めるだけのものを与え、自分でやりきったんだぞという満足感を得させる。

〈目的〉苦しくても逃げないで頑張る心・仲間と共に協力する心・思いやり助け合う心・目上の者に対する尊敬や礼儀を学ばせる。心も体も強くなった人間は、周りの人に優しくできるはず。みんなのために力になれる、世の中で役立つ人間にしていきたい。

○最近の子ども達の特徴

厳しい言葉・要求が大変苦手である。私は嫌われている・私だけ言われていると感じる。厳しい言葉は当たり前であり、お互いに厳しい要求をしあう事で相手を理解し、レベルアップにつながる事を理解させる指導が必要である。

○生徒に教える側のこだわりが重要

使う言葉はいつも同じにし、毎日同じ事を繰り返し言う。先生はこういう事が好きで、こういうことが嫌いだと分からせる。何が分かったか口で言わせる事も有効である。なぜ出来ないのかは教える側が考え、それぞれに応じた説明の仕方・練習方法を考える。一人に通じたものが、他の者に通じるとは限らない。

○ダメなことを注意する

なぜそうしたのかを生徒側が説明できるようにする。日頃指導している事と違ったり、全く忘れていた場合は厳しく指導する。たとえシュートが入ってもダメなものはダメとこだわる。なぜ叱っているのかを、生徒が分からないままにしない。

色々なプレーや方法があることを十分理解させる指導を入れる。試合の中でどの方法を選択するかは選手次第、少しでも良い方法を選択できるように鍛えておくことが大切である。

○緊張感のある練習

楽しく和気藹々の時も必要だし、ゆっくり基本を身につける事も大切だが、試合につながるプレーは、試合を同じ状況（嫌な思いでのシュート練習、ピリピリしたムード、パスコース）を作ることが大切である。またテンポの良い練習をさせる。常に集中させる工夫（時間や回数がくれば逃げられる状況は作らず、罰則を設ける）をする。

○ハンドボールの考え方

基本的に相手をだますスポーツだから、常にシュートを狙う表情・格好をさせる。自分にとって嫌なことは相手も嫌だから、その嫌なことをやる。シュート・フェイント・パスがいつでも出来る位置にいること。相手との間合いを本人が理解して欲しい。

スポーツとは厳しいことをやっていく。向上していくから面白く、下手同士ではつまらない。厳しいことをやっていくためには、基礎・基本が大切であり、苦しい練習が必要となる。そのためには他の様々な欲求の芽を摘まないとやってはいけない。ハンドと何かの両方をやるのは無理である。純粋に頑張っている人がいるのだから、勝てたらいいなあでは無理なので、一生懸命勝つためにやろうと話している。ＯＢも高校、大学で活躍しており、中学にも指導にきてくれる。辛かったけれどいい思い出だったと話している。

部活動は気持ちを育てるものである。生徒たちの熱い気持ちを大切にしていきたい。　（河野滋代・杉田陽子）

コンピューターを使った戦術分析

東海大学体育学部　平岡秀雄

シンポジウムの予定が急遽変更となり、東海大学体育学部の平岡秀雄先生による『コンピューターを使った戦術分析』の発表が、１時間半から約４５分間に短縮された。よって発表は「①ゲームの記録　②戦術の記録　③三次元解析　④エリア解析」の４項目の予定だったが、①②のみに削減されて行われた。

①ゲームの記録（HIRAOKA2001）

試合の分析はＶＴＲを使用すれば、見たい場面を巻き戻

したり、コマ送りして詳しく分析できるが、近年パーソナル・コンピューターが普及し、誰でも簡単に操作ができるようになったので、パソコンを利用して試合を記録し、ゲーム分析に役立てようと考えた。(パソコンを使用すれば、試合中にベンチで即座に活用できる)

パソコンで記録すれば、試合終了直後に集計できると共に、集積結果は報告書として簡単に利用できる。また、書式を考えれば公式記録にも応用でき、データの送信もEメールの添付資料で簡単にできる。

- ゲーム分析ソフト（HIRAOKA2001）及び簡単な操作マニュアルは、ハンドボール協会のホームページに掲載されているので、そこからダウンロードする。
- 分析する項目は、(1)いつ　時期when(2)だれ　選手who(3)なに　種類what(4)どこ　場所where(5)どのように　howの5項目。
- 初期設定：チーム名、監督名、選手名、ファイル名を入力し、「入力終了」ボタンをクリックする。
- データの入力：「試合開始」ボタンをクリックすると時間が流れる。プレイ毎に動作の種類をクリックする。(得点、シュートミスの場合にはゴール図が表示されるので、動作位置、コースを入力する。保持ミスの場合にはミスの種類、反則の場合にはその場所、監督の作戦タイムの場合にはその状況を表すボタンをクリックする。)ハーフタイム時には「中断」ボタン、試合終了時には「画面切り替え」ボタンをクリックする。
- データの処理：データ入力後、「データの保存」ボタンをクリックすると、3つのエクセルデータがデスクトップに作成される。集積結果はフォントを「8」に設定し、行・列幅を狭くすれば、A4サイズ一枚にプリントアウトできる。

②戦術の記録

①により攻撃のパターンを記録し、さらにエクセルの作図機能を用いて、各項目が解析しやすいようなグラフを選択し、作図する。データを蓄積できるので、複数のファイルから同一データを抜き取り、たとえば個人の分析などにも利用できる。

「HIRAOKA2001」のソフトでは分析項目が指定されるが、近日中に項目を自分で入れて分析できるファイルを作成する予定。ダウンロードの仕方は①と同様に行う。

（河野滋代）

高等学校の指導

瓊浦高等学校教諭　樫山祐子
（インターハイ・国体優勝）

1、小・中学校一貫教育（愛着型指導のすばらしさ）

優勝メンバーの大半が、小・中学校時代の熱心な指導者によりハンドボール競技の楽しさを・勝負の厳しさを学んでいた。常に共に歩む愛着型指導により彼らはハンドボール競技の魅力にとりつかれていたのである。日吉中（指導者　桐山充晴）と深堀中（指導者　大渡達也）はライバルとして切磋琢磨し、九州でも優勝するなどの実績を残している。

2、高等学校での指導　～課題とその裏付け～
バーンアウトしないためのモチベーション維持

早期の専門種目の選択と専門的トレーニングの開始により、バーンアウトすることが世界でも報告されている。高校でバーンアウトすることなく、しかもチームとしての結果をだす為に、長期的な視野で目先の勝利主義に惑わされないチーム作りを目指した。次にあげる9項目の環境づくりに全力を注いだ。

『環境づくり』

その1）栄養面と休養面

- シーズン中であっても必ず週1回以上の休養をとる。
- 水は乾きを覚える前に、自分のペースでこまめにとる。
- 練習のラストメニューに、食事がのど通らないほど追い込んだ練習はしない。
- 間食は積極的にとる。休み時間や練習中はおにぎりか市販のジョグメイトを食べる。
- 遠征や試合会場での弁当は一切利用せず、温かい定食屋を利用する。
- 無理をさせず、健康管理責任をもつ。3カ年皆勤を目標にする。

その2）からだづくりのための筋力トレーニング

- 週3回、丸弥ジムの高西先生によるメニューでウエイトトレーニング（ベンチプレス・スクワット・ベントローイングアップ・ツーハンズカール・腹筋・背筋の

6種目）を実施した。
・フォームづくりに1年かかったが、その後は選手が自発的に負荷をあげ、優勝メンバーの全員が大きな怪我なく、常にベストコンディションで戦うことができた。

その3）学習面と自己規律

授業やホームルームを通してスポーツに真剣に取り組むことは、心も含めて人間総体を鍛えることだと理解させた。ハンドボールの技術の向上や前向きに取り組む姿勢は、学習成績と相関関係が見られた。一日の大半を占める授業に真剣に臨むことの大切さを教え、そういう生活の中で意志力のトレーニングをした。

その4）クラブ日誌を通してポジティブシンキングへ

部員は自分の現状を振り返り、何をどうすべきかどう取り組んでいくべきかを正直に書いてくれる。それに対して、選手が心を開きやすいアドバイスやコメントを書き、改善して欲しいことは、その選手ができるだけ前向きにとらえることが出来るようにコメントをする。クラブ日誌は選手の意欲のバロメーターであり、選手とスタッフ陣を結ぶものである。

その5）掲示板の利用

指導者の考え全てを理解させる事は難しく、また型にはめ込みすぎると良さがでない。だから練習中は最低限のことしか言わずに、ゲーム分析を通して賞賛に値することや改善すべきこと、戦術や戦略、目標なども選手の目の触れる位置に掲示した。

その6）実業団短期留学と遠征

全国選抜で準優勝になってから、夏の大会にむけてモチベーションを上げるために、実業団にお願いし3～4名交代で練習にまぜて頂いたり、大学の強豪チームに胸を借りた。初の韓国遠征での全勝が自信となった。

その7）あめとムチの二人三脚

よきパートナーがいることで、より多くの選手に手が回り、子どもへのサービスも増える。若い指導者は赴任以前の歴史を見落としがちであり、それまでクラブを創り支えて下さった方への感謝を忘れてはならない。「温故知新」の精神で、うまく関係を保ち向上させていくことは、クラブ運営の大切なポイントである。

その8）指導者のやりたいことより、選手のやろうとすることを

選手がやりたいこと、問題意識を持って取り組んでいることを大切にし、見守り、アドバイスを与え、実戦させ、完成に導く方が選手の実力になっていく。

その9）子どもは正直

達成感のない練習に「つまらない」というサインを出すのに対し、必死に教材研究をした。女性であることでそういうサインを出しやすい練習ムードであったことがよかったのかもしれない。　（杉田陽子）

3、おわりに

最後に、ハンドボールは日本ではマイナースポーツだが、とても魅力あるスポーツである。この競技を愛する教え子達が魅力を伝えてくれることで、さらにハンドボールを愛する子どもが育っていくことと思われる。指導者である私達が、常に謙虚な姿勢を失わずに、子供達にハンドボールの楽しさを伝えて行く事ができるよう、教え子共々成長し続けて行きたい。

レフェリー部門

★3月8日（金）

初日、コーチ部門は日本女子体育大学において、ナショナルスタッフによる実技講習。その間レフェリー部門は斉藤審判長の基調報告から始まる座学を行った。

基調報告

審判部長　斉藤　実

1　プロジェクト21の構造改革に対する審判部の対応

アテネ特別委員会が発足し、その目的を達成するには、現在の日本協会をヒト・モノ・カネの面から構造改革を行わなければ達成できないというレポート（プロジェクト21）が出され、現在常務理事会において種々検討しているところです。

この中で審判部に関しての構造改革案として、どの様なスタイルが示されているかが別紙のレポートである。

この改革の第一段として

☆全日本大会審判団編成の改革

従来の全日本大会の審判編成は、それぞれの大会で必要ペア数を、大会開催地を中心にブロックに割り振り、各ブロックから推薦されたものを全国大会審判員としていた。しかもA級受験を予定している者は、全国大会経験を義務づけていたため、何人かのB級審判員も含まれており、必ずしも高いレベルの審判団とは言えないものがあった。いわゆる、全国大会審判推薦方法が曖昧な状態であった。

そこで、14年度からは

①A級受験者は、全国大会経験を義務づけない。ブロック大会以上の経験があればよい。
②国際審判員・各都道府県から推薦された№1審判員で全国大会審判団を編成する。
③全国大会審判団に編成されたものは、トップレフェリー研修会に必ず参加しなければならない。不参加の者は審判団から外すことになる。

2　視聴覚委員会の発足

審判員の資質向上を目指して、視聴覚教育の導入は以前より叫ばれてはいたが、予算計上の困難さや、編集の難しさ等からその必要性は十二分理解していながらも非常に遅れていた。しかしながら、昨今器材の進歩により、ダビングの劣化も余りなく、またパソコン利用により編集が容易になってきたことから、デジタルビデオカメラを１台購入し、さらに別の角度からも撮影する必要性もあることから、14年度の予算に購入を認めていただくことができた。

現在、島田審査指導委員を委員長に活動を開始している。教育用ビデオ更にはテスト用ビデオ等幅広く、全国の審判員の参考になる編集を心がけていく予定である。

3　研修会実施について

現在日本協会主催の研修会は、全国大会の始まる前７月に過去４回実施してきた。

最初は各ブロックから１ペア選出して開催し、その後色々スタイルを変えながら実施したが、昨年は日本リーグ担当レフェリー全員を対象に開催した。しかしながら、研修会に対する認識が低いというのだろうか、参加率が低い状態であった。

さて2002年は、１のところで示したように、本年度全国大会審判団に入った審判員全員を対象とすることになる。この研修会を欠席した場合には、審判団から外さなければならない。今まで、シンポジウムあるいは研修会を開催してきたが、これらに対する認識度が低く、何とか啓蒙しなければとは感じていたが、今年度は思い切って参加しない場合には、ライセンスを奪う形を取ることとした。

また、この研修会は「大崎企業スポーツ助成事業団」の助成金を得て行ってきたが、この助成金は2002年度実施分で終了になる。2003年からは自己資金でこれに見合う費用を生み出さなければならないことになる。さらに、各大会での審判に対する手当が定額であることが審判技術の伸び悩みを引き起こしているのではないか、という意見もあり、もしこれを満たすことにすればやはり審判部で資金を作らなければならない。

等々、審判員諸氏には今後多大な協力をお願いしなければならない。

⊙判定の縦断的解析

・競技規則研究

競技規則研究委員会
委員長　岸本　光夫

1）審判技術を磨く上で、視覚器、視覚中枢、二次中枢における問題点に着目し、今後そのような分析を元にしたレフェリーのトレーニング法・個々に対するテーラーメード育成法というようなものを検討していってはどうかという提案。

2）14年度の競技規則改正について、改正の流れを分析しながら解説。より正当な事実判定・判定における主観的要素の削減・違反規定の緩和と罰則の軽減・裁量の幅の増加、このようなテーマにおいて新競技規則を研究し、よりEBD（Evidence-Based Decision 根拠に基づく判定）を目指そうという講演。

★3月9日（土）

・ワークショップ

1）「レフェリーの人材確保」というテーマでブロック代表の講演。質疑応答
加藤　慶仁（北海道）、浅野　幹也（東海）、
寺内　啓之（近畿）、安田　寛（関東）

2）「レフェリーの育成法」
多田　和夫・中舘　豊（東北）、
浜野　大助（北信越）、貞島　早苗（九州）

3）「国際審判の育成法」というタイトルで、家永　昌樹国際審判員の講演。

国際審判となってからはじめて参加した、ポルトガルの男子世界学生選手権で学んだこと。

*ジェスチャーは鏡の前で練習する。
*ヨーロッパのレフェリーの、プレーヤー・ベンチとの巧妙なコミュニケーション。
*レッドカードは機械的に出る。
*罰則は一人が出して、後の一人は他の状況を観察することも必要。
*笛のタイミングが遅れると、正しい判定でもストレスを与える。
*最初の五分で基準を示せとはつまり、「丁寧にしなさい」ということ。

⊙新競技規則の解説

・パネルディスカッション

笹倉指導委員長、島田審判指導審査員作成の映像に基づいて、コーチ・レフェリー間で意見交換を行った。主なテーマとしては

1）パッシブプレー
2）ブロック　　　など

パッシブプレーについては、「早くなる」というイメージだけを持つのではなく、本来「取る」べき反則ではなく、「その攻撃、何とかしなさい」と促す為の予告なのだと言う認識を確認。

（次号につづく）

見ているだけでも楽しくなっちゃう!
こだわり商品勢揃いのインターネットショッピングサイト

http://www.toki-meki.com/

◆◆◆◆◆◆◆ 今月のバイヤーお勧めアイテム ◆◆◆◆◆◆◆

春真っ盛り、心うきうきのこの季節。冬についた体脂肪を燃焼させよう!
お求めは、ときめきドットコム"+@ビューティ"カテゴリー内、"ヘルス&フィットネス用品"で!

ボディボール

- ●商品番号:206-906 直径55cm 4,400円
- ●商品番号:206-907 直径65cm 5,400円
- ●商品番号:206-908 直径75cm 6,500円
- ●商品番号:206-909 直径85cm 8,500円

バランス感覚・平衡感覚を身につけるに最適なバランスボール。支える、はずむ、乗る、転がる、伸ばすといったさまざまな体の動きに対応し、軽運動、ストレッチ、筋力トレーニングなどに役立ちます。耐荷重は300kgと、安心して使用できます。

ギムニク触覚ボール

- ●商品番号:206-910 直径65cm 6,500円
- ●商品番号:206-912 直径100cm 20,000円

バランスボールの機能に、マッサージ効果をつけた触覚ボール。ボール表面の突起物が、体を気持ちよく刺激します。トレーニングをしながらマッサージができてしまう優れものです。耐荷重は300kgなので、思いきり体重をかけ、ツボを刺激してもびくともしません。

●ボールサイズ対応表

ボールサイズ	55cm	65cm	75cm	85cm
身　長	150～165cm	165～180cm	180～190cm	190cm～

アジャストダンベル

●商品番号:206-913 5kg(1組) 14,300円

ウェイト調節のできるダンベル。2kg～5kgまで1kg単位で4段階のウェイト調節ができます。グリップにはソフトなウレタンを使用し、トレーニング中に手が痛くなることもありません。収納に便利な専用ケース付き。他のダンベルには見られないデザインが特徴です。2本1組。

バランスディスク

●商品番号:206-914 バランスディスク2 10,600円

注目のバランストレーニングでの柔軟で強靭なボディ作りにぴったりのギヤアイテム。基本的運動能力の筋力・柔軟性・持久力・瞬発力・協調性の中で、特に筋肉の協調性のバランス能力・ひねり能力・敏捷性等の向上を効果的にサポートします。継続してエクササイズすることによって長時間バランスを保つことも可能に。あらゆるスポーツの基本動作をディスク上で再現してみませんか?バランスディスク上で球技動作をおこなうと、より高度なレベルへ!いろいろなスポーツの補助的練習に効果を発揮します。ぜひあなたのトレーニングメニューに加えてみてください。

表示価格には消費税・配送料は含みません。支払い方法など、詳しくはサイトをご覧下さい。

お申し込みは、下記要領で

お電話からは FreeDial 0120-215-621
受付時間:10:00～17:00(土日祝も営業しております) 住所:東京都中央区京橋2丁目8番18号昭和ビル3階

パソコンからは http://www.toki-meki.com/
ケータイからは http://mobile.toki-meki.com/

シーアンドエスグループは、日本ハンドボールチームを応援しています。

株式会社シーアンドエスは、サークルケイ・ジャパン株式会社と株式会社サンクスアンドアソシエイツの共同持株会社として発足しました。

 シーアンドエスグループ

第3回 関東高校ジュニア選抜ハンドボールチーム韓国遠征報告

稲生　茂

関東高校ジュニアの韓国遠征は今年で３回目になりますが、平成13年12月26日から30日まで下記のスタッフと別表の選手で遠征行事を実施しました。

団　長	稲生　茂	県立成田北高校
総監督	笠原利宏	昭和学院高校
男子監督	中山富夫	国学院栃木高校
男子コーチ	中澤達彦	甲府城西高校
男子コーチ	岩本　明	浦和学院高校
男子コーチ	滝川一徳	県立伊奈高校
女子監督	宮崎　昭	埼玉栄高校
女子コーチ	小池礼一	横浜創英短期大学女子高校
女子コーチ	石川浩和	佼成女子高校
選手名簿	別表	男子18名
		女子21名
保護者		２名　合計50名

■12月26日（水）

成田空港に９時20分に集合して11時50分に空港を飛び立ちました。14時15分に仁川空港に到着、ちょっとトラブル

があり遅れるが、15時バスに乗り込んで一路ソウルに向かって行き、ヨンドンホテルに16時30分に到着し、宿でゆっくりして、その日は外のレストランで夕食をとりました。

■12月27日（木）

朝７時に朝食を食べて、ホテルを８時30分に出発しました。男子は南漢（ナムハン）高校と女子は水枝（スジ）高校にお世話になりました。女子の水枝高校のクラブ活動はハンドボールだけで、選手全員は寮生活をしていて、試合が近いと授業も公欠でハンドボールを一日中やっているとのことです（４回練習)。選手は学校から援助を得て、ハンドボールで身を立てるという感じです。

練習内容は男女とも同じようで、徹底したフットワークを1時間か２時間かけてやります。フットワークのやり方は、ヨーロッパの自由なやり方に比べて、韓国の軍隊式フットワークのやり方です。特に男子は初日大変だったようです。

［試合結果］

男子（30分）
　関　東　選　抜　５―31　南　漢　高　校
女子（20分）
　関東選抜Ａ　11―14　水　枝　高　校
　関東選抜Ｂ　９―16　水　枝　高　校

■12月28日（金）

朝７時30分に朝食を食べて、８時30分に宿舎を出発しました。昨日と同じように合同でフットワークから練習に入りましたが、相変わらずステップを大切にした厳しい練習でした。ボール扱いは非常に上手で、相手のコーチは関東選抜の選手のキャッチミスをなんとかしてほしいと盛んにこちらのコーチに要求していました。

韓国の監督、コーチ名は
　南漢高校　監　督　権　永哲（クオン　ヨン　チョル）
　　　　　　コーチ　姜　京擇（カン　キョン　テク）
　水枝高校　コーチ　金　云学（キム　ウォン　ハク）
のメンバーです。

［試合結果］

男子（30分）
　関東選抜Ａ　25―29　南　漢　高　校
　関東選抜Ｂ　10―13　南　漢　高　校（中学生）
女子（20分）
　関東選抜Ａ　６―14　水　枝　高　校
　関東選抜Ｂ　11―10　水　枝　高　校

■12月29日（土）

朝、突然の雪でソウルでは珍しいとのことです。この日も朝８時30分に出発をして、９時30分にトレーニングを始めました。南漢高校の練習には小学生と中学生も参加しています。それぞれにコーチがいますが、この地域は地域スポーツのような状況ができていまして、小学校、中学校の優れた選手は高校に来てもハンドボール選手として優遇されて、ハンドボールで大学に進学するか、また、就職先を

実業団チームにするかを決めているようです。

この高校もスポーツで身を立てる生徒は少数で、クラブ活動はハンドボールのみで、その他の生徒は一生懸命勉強する状況で、遊びのクラブはなく、ナショナル選手を目指すか、勉強するかどちらか一方です。

[試合結果]

男子（30分ハーフ）

関東選抜 24（10—14 / 14—13）27 南漢高校

女子（20分）

関東選抜 6—13 水枝高校

関東選抜 6—12 水枝高校

午後、韓国の大統領カップという大会の予選リーグの見学に男子のみ行きました。観客はチーム関係者20～30名程で寂しい限りです。韓国もチームの減少はひどく、関係者も元気はありません。

現在の頂点強化のシステムのみで今のレベルを維持している感じで、いま日本がしっかりと韓国に負けない組織と指導体制を作れば、数年で韓国を凌ぐ国になっていくでしょう。女子は２～３年でひっくり返ると思います。

■12月30日（日）

一日観光をしました。

仁川（インチョン）空港を15時30分に出発して、成田空港に17時50分頃に到着しました。全員、怪我もなく（相手は怪我をしましたが）終了しました。

非常に有意義な韓国遠征試合でした。

第3回 関東ジュニアハンドボール選抜選手名簿

男子 No.	氏名	学校名	学年	身長	備考	女子 No.	氏名	学校名	学年	身長	備考
1	永田裕一	駿台甲府	2	174	左	1	飯田めぐみ	伊奈	1	158	
2	水野裕紀	駿台甲府	2	171		2	加藤由子	伊奈	1	158	
3	武井僚也	駿台甲府	2	173		3	栗原沙織	桐生西	2	164	
4	廣瀬太一	駿台甲府	2	183		4	唐澤友美	埼玉栄	2	164	
5	渡辺直之	駿台甲府	2	178	GK	5	五月女美代	埼玉栄	2	157	
6	五味元気	塩山	2	175		6	大場沙織	埼玉栄	2	163	
7	樋口健太	塩山	2	168	左	7	長谷川あゆ美	栃木商業	2	168	
8	岸川英誉	国学院栃木	2	185		8	関香織	栃木商業	2	162	
9	石井千貴	小山南	2	183		9	寺内美香	栃木女子	2	170	GK
10	黒川正広	伊奈	2	167		10	森澤敏恵	栃木女子	2	164	
11	前島裕	伊奈	2	182	GK	11	松本怜子	横浜創英	2	163	
12	松井泰崇	富岡	2	179		12	三ツ石香菜	横浜創英	2	163	
13	松井勝利	富岡	2	174		13	保田紗希	横浜創英	2	158	左
14	茂木直人	富岡実業	2	171		14	杉田綾子	横浜創英	2	158	
15	細渕祐二	浦和実業	2	175		15	神山菜穂子	佼成女子	2	157	
16	三浦勇一	浦和実業	2	173		16	伊藤珠音	佼成女子	2	167	
17	佐藤文将	横浜商工	2	180		17	矢原理夏	佼成女子	2	166	GK
18	高見勢篤史	八千代	2	170		18	細野かおり	山梨	2	168	
19	木本祐希	東邦	2	170		19	高橋瑛美	昭和学院	2	164	
20	北山浩行	神代	2	170		20	蜂谷麻奈美	昭和学院	2	153	
21						21	南雲悠子	昭和学院	2	158	

・人・物・登・場・～そのとき活躍した人々～

人物登場。今回ご登場いただくのは。

大塚　文雄さん

（おおつか　ふみお）

昭和14年5月5日生

前日本協会審判部長。元日本協会常務理事。都立の名門墨田川高校から東京教育大へ。卒業後、昭和40年に都立神代高校へ赴任。男子部を5度全国大会へ導いた。その頃からレフェリーの道へも足を踏み入れ、32才で国内A級。のちに国際審判員として活躍した。現在は、都立国立高校の指導をはじめ、特に指導者のいない高校への技術指導、普及活動に奮闘中。機関誌で「大塚文雄のハンドボール」を連載しています。

ハンドボールとの出会いについて教えて下さい。

東京都大田区の雪谷中学に入学。そこには軍隊帰りの若き岡村昭二先生がおられました。雪谷中は当時東京では敵無し。先生も格好よかったけど、ハンドボールも素晴らしかった。しかし、100mはあろうかと言うグラウンドを「ウサギ跳び」往復は辛かったですね。高校は都立墨田川高校へ入学。ここには松本重雄先生という偉大な指導者がおられました。入学した頃は東京では1回戦ボーイ。それが3年になったときには優勝してしまいました。今はこんな私ですが、2年生のときから全東京で活躍しました。あの頃が懐かしい…。

大学は、松本先生も岡村先生も東京教育大の大先輩。私も迷うことなく東京教育大へ。試合には1年から出ていたものの、体力の無い私は2流3流のプレーヤー。大学2年の秋、神奈川の市立川崎高校からコーチを頼まれ、大学の練習の合間に川崎通い。そして卒業の年、なんと優勝させてしまったのです。このころハンドボールを教える楽しみみたいなものが芽生え始めましたね。

卒業後、都立神代高校へ…。

大学卒業後、東京都の職員として採用され、2年間定時制高校に勤務しました。しかし2年目の冬、教育庁の体育課長から呼び出しを受け、4月から都立神代高校に勤務するよう言い渡されました（普通こんなことはありえないのですが…）。当時、佐野和夫先生率いる「神代」は全日本選手を何人も輩出している強豪チーム。その佐野先生の後釜。佐野先生も教育大の大先輩であるが、恐れ多くて口も開けませんでした。しかし、この出会いが、私をハンドボールの世界へ引きずり込んでいくことになろうとは、そのときは思いもしませんでしたね。

どうしてレフェリーの道に進まれたのですか。

その頃の審判は、1人制でとてもいい加減。中には、相手に触ると「ピー」、審判に文句を言うと「退場！」とくる。だから選手には「ピー」ときたらすぐ「スミマセン！」、ところが相手は「エッ、どうして？」。で、「退場！」。こんな具合でした（ちょっとオーバー？）。でもルール解釈もいい加減で、全国のバラつきも大きかったです。そんな中、神代に赴任した昭和40年、男女とも熊本のインターハイに出場。しかし、女子のGKが相手のシュート後の無理な体当たりで大腿骨骨折。男子もエースが1対1で抜いたとたん膝蹴りで救急車。これではハンドボールは発展しない。そして審判の道へ…。

審判委員長時代のお話を…。

私が審判委員長になるや、日本のハンドボール界は国際化が始まりました。アジア選手権・アジア大会・熊本世界選手権などの大きな国際大会、それらに付随した大会が目白押し。そこでレフェリーのレベルアップが最重要課題。ここで忘れてはならないのが光島磯雄氏です。巧みなドイツ語を操る彼を世界中の人が知っていた。あるIHF役員が、彼は「日本のテロリスト」というあだ名だと親しみを込めて教えてくれた(うまいこというなあ)。そんな彼と何回もIHFの会議に出席し、私の顔も次第に覚えてもらいました。彼には本当に感謝しています。IHFの役員でも、特に規則・審判委員長のエリック・エリアス氏には本当にお世話になりました。忙しい中、何回も来日しレフェリーのレベルアップに力を尽くしてくれました。私はエリアス氏に日本のレフェリーの売り込みとともに、とにかく日本の審判界あげて向上に努力しました。その結果、バルセロナオリンピックで島田・後藤両君がオリンピックレフェリーとなり、熊本世界選手権では後藤・清水両君がノミネートされ、世界へ羽ばたいて行きました。最後に、現役レフェリーの皆さん。皆さんがいないとゲームが成り立ちません。あるときは厳然と、そしてあるときは心温かい笛を。そして研修！研修！。頑張って下さい。

今の日本ハンドボール界に望むことは何でしょうか。

アジアの王座奪回！　アテネの切符を！　これは勿論悲願でありますが、私たちを取り巻く状況は甘くありません。少子化、不況で企業の撤退、アジア連盟の問題。世の中大変暗いです。ここはじっくり腰を据え、指導者の養成と底辺拡大。力をつけて、一気に爆発させましょう‼

平成13年度全日本学生優秀選手選考基準について

1．全日本学生選手権大会の優秀選手及び特別賞受賞選手
1．東日本及び西日本両学生選手権大会の優秀選手受賞選手
1．上記三大会で受賞しなかった学連から地区推薦男女1名の推薦選手
1．男女世界学生選手権大会エントリー選手
1．その他、全日本チーム等で顕著な活躍を認められた全日本学連推薦選手

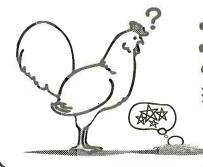
以上が選考基準であり、平成13年度は、男女共に世界学生選手権大会がなく全日本学生選抜チームの世界学生選手権エントリー選手はなかった。また、世界選手権、オリンピック、その他全日本選手として活躍選手の該当もなかった。

平成13年度は、東西学生選手権大会、全日本学生選手権大会での上位進出大学が大会毎に異なる様な状況で、対象選手が多かった。

平成13年度男子優秀選手

番号	ポジション	氏　名	出身大学名
1	GK	田中智博	大阪体育大
2	GK	和久長義	日本大
3	GK	石原秀久	東海大
4	GK	宮城正利	中央大
5	GK	福田隆之	中部大
6	CP	四宮英伸	大阪体育大
7	CP	田中秀樹	大阪体育大
8	CP	作取克治	中部大
9	CP	香川将之	中部大
10	CP	瀬川裕二	早稲田大
11	CP	森　真介	中京大
12	CP	林　圭介	大阪体育大
13	CP	田平修一	早稲田大
14	CP	鶴田裕喜	日本大
15	CP	若松龍介	日本大
16	CP	吉川秀克	日本大
17	CP	大沢　勝	国士館大
18	CP	阪　昭博	大経大
19	CP	村上秀行	大経大
20	CP	横地康介	名城大
21	GK	向谷内祥元	函館大
22	CP	星川雄二	東北福祉大
23	CP	田畑邦彦	新潟大
24	CP	十河昌司	松山大
25	CP	照屋喜隆	福岡大

平成13年度女子優秀選手

番号	ポジション	氏　名	出身大学名
1	GK	小松理子	東女体大
2	GK	安達多華美	筑波大
3	GK	佐々木聡美	浅井学園大
4	GK	稲福亜津沙	福教大
5	CP	橋本寛子	東女体大
6	CP	佐々木純子	東女体大
7	CP	原田　恵	筑波大
8	CP	早船愛子	筑波大
9	CP	小野澤香理	国士館大
10	CP	松岡巳加	福岡大
11	CP	岡崎美紀	東女体大
12	CP	三木理恵	東女体大
13	CP	山田あずさ	筑波大
14	CP	徳永さつき	日女体大
15	CP	植田久美子	国士館大
16	CP	木村妙子	福教大
17	CP	仲座由美	福教大
18	CP	北　三紀子	福岡大
19	CP	小玉祐子	福岡大
20	CP	今井利恵	大教大
21	CP	山下悠子	岡山大
22	CP	田村真理子	東北福祉大
23	CP	木下奈々美	仁愛女短大
24	CP	森岡みどり	桜花学園大

連載 大塚文雄のハンドボール②

東京の大塚文雄先生が、指導者のいない高校生に向けてハンドボールの解説書を配布されているとの情報を得ました。せっかくの先生のご努力が少しでも多くの方々に理解されるよう、この解説書を大塚先生のご了解を得まして、機関誌に連載いたします。

0−6ディフェンス・システム

都高体連で最も多いディフェンス・システム。

私の見る限りでは、消極的な受け身のディフェンスが多い。このディフェンスはけっして消極的なものではなく、アクティブなディフェンスであることがわかるはず。このシステムは日本に何回も来たスウェーデンの基本ディフェンス・システムでこれが日本の手本になった。

プレーの基本

※フローターの切り込みに対し2人のカバー（図1）

※ボールを持ったセンタープレーヤーに対して三角形をつくる。（図2）

※積極的なサイド防御者は、数的不利なこわい状況をもフォローする。（図2・3）

※ディフェンスの中央を守るセンターバックは積極的な役割を持つ。（図4）

※変化に富んだ、この防御戦術は驚くほど積極的（先取り的に）な防御活動である。（図5）

戦術的目標

０−６の防御システムの基本的な動きは、図６の通りである。

戦術的な狙いは以下のようにまとめられる。

※中央部分では積極的な動きをする。

　−中央部分へのパスにプレッシャーをかける。

※中間位置のプレーヤーは消極的である。

　−ポストプレーヤーの外への動きのマークを重くする。

　−好ましいシュート角度ではない。

　−両フローターのシュートの動きを制限する。

　−中央への短い横、斜め方向の動きを阻止。

　（ポストプレーヤーへのパスの阻止）

※数的優位な場面における、より効果的な個々のフォロー防御。

※それぞれの防御空間における個々の変化。

　−防御のフェント

　−状況の先取り

※経済的な防御活動

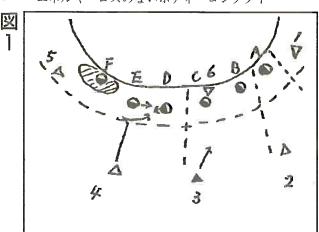
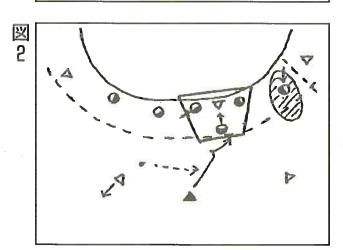
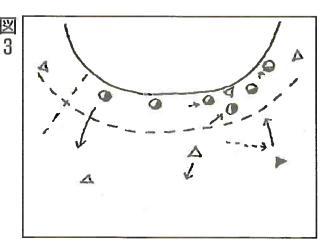
　−体力向上の発達

　−個々の弱点を隠す

　−エネルギーロスのないボディーコンタクト

図1

図2

図3

※攻撃的方向づけ
　－速攻への方向づけ
　－プレス・システムの変化
　－消極的ゲームを刺激する（速い判断）

問題の地域

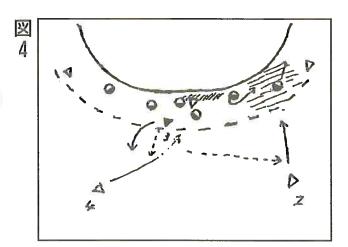
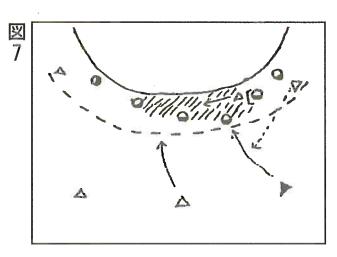
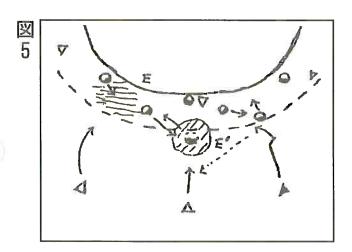
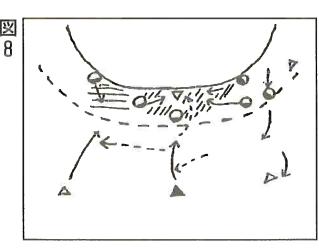
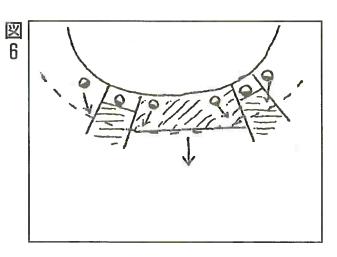
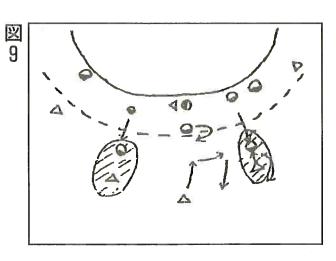
このディフェンス・システムの問題の地域は、主に中央付近の防御者の積極的なプレーによる結果として生ずる。それ故に、攻撃者はブロックもしくは、中央防御者の後方へ走り込むことは、戦術的に妥当な方法である。（図７・８）

驚くべき時と効果的なプレス

スウェーデンの０－６防御のシステムは、基本的には、消極的な防御ではない。時々、スウェーデンの選手は状況に応じて相手の攻撃の流れを中断するようなときなどに積極的な（先取り的な）プレーをした。（図９）

それは状況に応じてであるが、例えば相手の攻撃の流れを中断するようなときである。（図９）

これは、主にセンタープレーヤーのクロスの動き、もしくは１：１の動きの際にもしドリブルをしてその後、再びボールを保持した際に試みられる。（ドリブルをした後、ボールをキャッチすればその後、３歩３秒でボールを離さなければならない。この時、ディフェンスは全員が積極的にマンツーマンみたいに当たったら、ボールをパスするところがなくなりオーバーステップ・オーバータイムまたパスミスなどでマイボールになる。）

図４
図７
図５
図８
図６
図９

平成13年度　チーム・選手数一覧表（まとめ）

2002年3月10日作成

	一般L		一般A		学　生		高　専		高　校		中　学		小学生		リージョナル		合　計	
	チーム	人数	チーム	人数	チーム	人数	チーム	人数	チーム	人数	チーム	人数	チーム	人数	チーム	人数	チーム	人数
1 北海道	0	0	22	286	25	368	1	11	67	1,045	14	225	3	79	9	123	141	2,138
2 青　森	0	0	12	192	5	68	1	21	21	363	1	17	1	30	0	0	41	691
3 岩　手	0	0	10	155	3	32	1	24	44	873	30	803	0	0	18	246	106	2,133
4 宮　城	0	0	7	92	12	195	2	46	46	931	16	347	0	0	1	11	84	1,622
5 秋　田	0	0	8	124	2	27	1	18	12	243	5	109	3	64	0	0	31	585
6 山　形	0	0	12	161	1	17	1	28	18	377	7	102	0	0	0	0	39	685
7 福　島	1	15	9	118	3	42	0	0	38	616	20	510	1	15	0	0	72	1316
8 茨　城	0	0	12	173	4	60	0	0	54	843	28	539	7	146	8	112	113	1,873
9 栃　木	1	17	5	84	2	29	0	0	21	377	15	351	0	0	3	41	47	899
10 群　馬	0	0	8	134	0	0	0	0	17	289	17	372	1	64	3	35	46	894
11 埼　玉	1	18	14	215	6	69	0	0	93	1,573	33	648	0	0	0	0	147	2,523
12 千　葉	0	0	11	184	8	128	0	0	59	883	26	407	3	60	9	133	116	1,795
13 東　京	1	23	12	226	43	673	2	33	139	1,810	24	332	2	28	49	897	272	4,022
14 神奈川	0	0	17	236	13	187	0	0	151	2,313	65	904	0	0	15	227	261	3,867
15 山　梨	1	15	4	67	5	55	0	0	25	427	13	279	2	80	9	114	59	1,037
16 新　潟	0	0	5	64	4	60	1	12	12	215	0	0	0	0	1	7	23	358
17 長　野	0	0	6	98	1	17	0	0	29	439	11	216	2	63	0	0	49	833
18 富　山	1	15	12	158	3	37	1	21	28	409	33	658	7	104	1	13	86	1,415
19 石　川	1	19	8	128	3	46	1	15	22	335	26	657	0	0	1	22	62	1,222
20 福　井	2	23	4	53	2	22	1	22	20	396	15	307	7	312	3	25	54	1,160
21 静　岡	0	0	14	171	4	48	1	14	48	929	6	168	0	0	1	10	74	1,341
22 愛　知	5	79	10	157	27	441	1	38	242	4,563	153	3,270	11	198	0	0	449	8,746
23 三　重	1	17	8	123	3	33	1	15	36	548	33	706	5	70	0	0	87	1,512
24 岐　阜	0	0	15	233	3	39	1	19	58	1,007	54	1,137	1	30	3	46	135	2,511
25 滋　賀	0	0	7	105	3	44	0	0	22	419	13	311	0	0	2	23	47	902
26 京　都	0	0	9	124	15	194	1	22	39	626	14	272	10	381	21	189	109	1,808
27 大　阪	1	11	13	202	29	430	1	19	103	1,211	30	516	3	68	1	16	181	2,473
28 兵　庫	0	0	7	103	12	175	1	14	87	1,246	31	713	3	45	8	130	149	2,426
29 奈　良	0	0	6	76	4	50	1	19	28	407	22	432	3	63	0	0	64	1,047
30 和歌山	0	0	6	86	2	23	1	17	23	343	17	369	1	32	4	53	54	923
31 鳥　取	0	0	4	58	1	14	1	22	15	215	6	117	0	0	1	11	28	437
32 島　根	0	0	2	25	1	12	1	23	10	178	2	28	0	0	0	0	16	266
33 岡　山	0	0	12	159	7	94	1	21	51	913	13	308	0	0	4	42	88	1,537
34 広　島	2	35	4	74	6	85	1	10	22	323	9	180	1	30	6	90	51	827
35 山　口	1	11	16	213	1	10	2	39	34	656	23	536	3	68	2	35	82	1,568
36 香　川	0	0	4	56	2	22	0	0	25	382	22	462	3	57	0	0	56	979
37 徳　島	0	0	2	25	3	41	0	0	8	130	0	0	0	0	0	0	13	196
38 愛　媛	0	0	7	113	3	45	0	0	33	684	4	69	1	19	0	0	48	930
39 高　知	0	0	4	58	2	18	1	11	12	134	9	125	0	0	9	79	37	425
40 福　岡	0	0	5	80	15	257	2	48	56	879	21	409	0	0	0	0	99	1,673
41 佐　賀	1	15	6	88	0	0	0	0	11	150	5	88	0	0	0	0	23	341
42 長　崎	0	0	7	128	2	21	0	0	30	642	19	302	4	88	0	0	62	1,181
43 熊　本	2	42	3	45	4	40	2	52	54	927	42	745	21	493	0	0	128	2,344
44 大　分	0	0	8	103	2	23	0	0	15	216	12	206	14	200	0	0	51	748
45 宮　崎	0	0	3	52	2	9	1	30	35	488	21	281	8	149	7	94	77	1,103
46 鹿児島	1	15	5	65	3	37	1	26	33	550	14	318	2	25	3	38	62	1,074
47 沖　縄	0	0	12	173	4	54	0	0	80	1,265	60	1,379	20	345	18	244	174	3,460
合　計	23	370	397	5,843	305	4,392	35	710	2,106	34,789	1,054	21,230	153	3,406	220	3,106	4,293	73,846

協会だより

平成14年3月度常務理事会

［日　時］平成14年3月9日（土）
11時〜15時
［場　所］明治神宮会館　特別会議室
［出席者］山下副会長、大西専務理事、常務理事８名、理事１名、監事２名、参事２名

【議事】

1. ナショナルチームの強化体制
（アジア選手権・世界選手権予選総括）

男子ナショナルチーム監督の継続について、評価委員会の評価がまだではあるが、強化事業部としては継続を決定したとの報告あり。

レフェリー問題として、ほとんどが教員である為、日程調整が不可避。来年のオリンピック予選までに日本協会としての態度を確認。

アジア予選を再度東西分離を図ると共に大会運営の正常化も必要。

IHF評議会に出席する副会長に提議を依頼したとの報告。

外国人コーチの位置付けの確認。

2. 全国大会補助金と開催権料について

事実の再認識と見直しが必要との報告。競技運営委員会とマーケティング委員会で内容を検討。6月全国理事会に諮って承認を取る。

中学生への支援がまだ貧弱であると言う意見に一致。全国中学校大会及びJOCジュニアオリンピックカップ両大会の見直し、チーム数増加を図るべきとの意見。

3. プロジェクト21について

ワーキンググループの概略組織図が示された。

登録金の担当を決め、理念・責任、マネージメント、規定、国際化の担当はこれから決める。

ワーキンググループの中味をもう少し明らかにする。マーケティング委員会に整合性を持たせ、財政の長期計画を強化・財務合同で立てるようにと要望があった。

収入、支出について見直し、5月までに意見をまとめておく。とりあえず北京オリンピックまでを一区切りとして必要経費を算出しておく必要がある。

4. スポーツ振興くじ申請について

助成金交付要望書と各事業計画書と収支予算書について説明。

5. アテネオリンピック予選

開催予定地神戸で、地方自治体の協力体制について打診中。

6. タラフレックス

現在保有しているものの処分方法と新規購入の場合の処理方法。企画書を提出する。

7. シーアンドエス弁当供給の件

日本協会として各都道府県大会・ブロック大会・小学生から実業団の大会までを含め合計一万食足らずを各大会に補助する。

8. プレーオフ

プレーオフの顔ぶれ紹介と、高円宮殿下のお成りについて説明があった。競技関連系の一貫としてフットサルを男女決勝戦の間に行う。

9. ペイオフについて

4月より実施のペイオフに関連して、定期預金を当面普通預金にしておく事を了承。

10. ヒロシマ国際2002

ヒロシマ国際大会について、情報の提示と意見があった。

「がんばれハンドボール10万人会」3月新規入会・継続更新会員の紹介

【北海道】松　喜美夫、小島収治、倉本紘一【青森】鎌田孫秀【岩手】中舘　豊、上町祐隆【宮城】千田　哲史【秋田】山本　勲、高橋栄治、古関和子【福島】今野雅益【茨城】田中汀子、北村善夫、住尾　勉、稲吉　繁、細津由紀子【栃木】石田正彦【群馬】伊崎克巳、飯塚紀子、石井　講【埼玉】高田　誠、齋藤和也、坂井弘元、柳沢晃司【千葉】植村　彰、石橋　茂、石橋美保、坂本静男、勝俣裕二、稲生道子【東京】長田　敦、佐藤佳子、兼子　真、杉山　茂、後藤　登、長田馨一、中澤重夫、田口敬蔵、荘林康次、宮下賢一、松本隆平、江成純子、後藤明美、西村興八、中澤文子、百瀬荘太郎【神奈川】植村　繁、渡辺亜由美、杉山義祥、五島孝彦、松井幸嗣、山内朋浩、坪井俊之【山梨】千野恒夫、平岡秀雄、渡辺英彰、奥野正夫【長野】柳沢民弥、柳沢徳枝、青木和彦、酒井知之、宮嵜公一、宮下　肇、中村　功、竹口洋子、町田志郎、宮坂　守、山口賢一、冨田忠幸、山口政春、神谷槻子、後藤政俊、北原尚子【富山】光安美津夫、藤井清勝、宮崎美佳、前田隆宏【石川】荷川取義浩、谷口俊春【福井】高野郁代、宇野栄一【静岡】山田久美子【愛知】角　紘昭、蒲生晴明、西村亮治、西口貴子、浅野幹也【三重】福田亜紀、加藤　公、梅基幸一、柳井谷実、伊藤良男【岐阜】森　勝博、池渕智一【京都】藤本　昇【大阪】寺内啓之、四方洋子、山崎　武、㈱光エージェンシー、神田清、松林義政、幸田良一、本田勝亮、古庄哲則、小森園多恵子、中村博幸、奥山繁義、友成　公、北村勝男、古川武彦、山崎義博【兵庫】狩野幸介、都倉達殊、山原一晃、狩野孝子、狩野裕子【奈良】佐々木英明、森　覚【和歌山】小川　武【岡山】片山　透、厚沢フサ子、厚沢嘉身【広島】山下明子、門田勝正【山口】白井謙次、織田正則、佐伯敬子【香川】小早川道孝、岡川雄紀、杉山孝広、馬場文彦【愛媛】越智紀子、竹村久晴、村上香織、松原利彦、大野定道【高知】有光正憲、中川利彦、清水　修、佐賀厚幸、高橋英央【福岡】桐明　正【佐賀】久保田秀光【熊本】上野信行【大分】小田晴美【鹿児島】野口智春

【5月の行事予定】

〈会　議〉　5月11日(土)　常務理事会・東京

★編集後記★

もう9年ほども前のことでしょうか。サッカーなど全く興味のなかった私がW杯予選に釘付けになりました。突然救世主のように現れた外国人監督オフト氏。そしてあのドーハの悲劇。今まで見たスポーツのシーンの中で、絶対に忘れられない一瞬。その時の敗因をつきつめていくと、たった一人、怪我人の出た左サイドを埋められなかったこと…。

4年前の初出場を経て、今年日韓共催の年。日本代表も大きく成長したのを誰もが認めるでしょう。世界に羽ばたくスターの存在。彼らがいない試合でも充分戦える選手層の充実。しかし、屈辱からここまでに、10年かかっているのです。

熊本。本当にあと僅かの差でフランスに敗れたあの日からもうすぐ5年。まだ5年。

サッカーW杯、成功を心から祈ります。W杯開催の先輩として。

(安田　寛)

HAND BALL CONTENTS May

(登録チームの購読料は登録料に含む)

柔らかな感触で、最適なバウンド！

新発売

PKCH3-AD DX
5,500円

PKCH2-AD DX
5,400円

new

PKCH1-ADJ
3,600円

手縫い・国際公認球

PKCH3-AD
4,600円

PKCH2-AD
4,500円

PKCH3-ADR
2,800円

PKCH2-ADR
2,700円

MIKASA®
明星ゴム工業株式会社

(財)日本ハンドボール協会編　『ハンドボール』　第四二九号

昭和四十年六月七日　第三種郵便物認可

平成十四年四月二十六日印刷　平成十四年五月一日発行

東京都渋谷区神南一—一—一
電話　代表　三四八一—二三六一
振替　〇〇一三〇—七—一〇二九三

編集兼発行人　大西武三

定価　年間三三〇〇円